

仙南地域の概要

平成29年度



みやぎ蔵王三十六景 「円田水田」(逆さ蔵王)

大河原地方行政連絡調整会議

目 次

番号	項 目	ページ
01	仙 南 地 域 の 概 要	1 ~ 2
02	管 内 市 町 の 概 要	3 ~ 7
03	人 口	8
04	福 祉	9
05	保 健 環 境	10 ~ 11
06	商 業	12
07	工 業	13
08	労 働	14
09	観 光	15
10	農 業	16
11	畜 産	17
12	林 業	18
13	農 村 整 備	19
14	県 税	20 ~ 21
15	土 木	22
16	広 域 水 道	23 ~ 25
17	教 育	26 ~ 27
18	文 化	28 ~ 29
19	治 安 情 勢	30 ~ 31
20	県 の 行 政 機 関	32

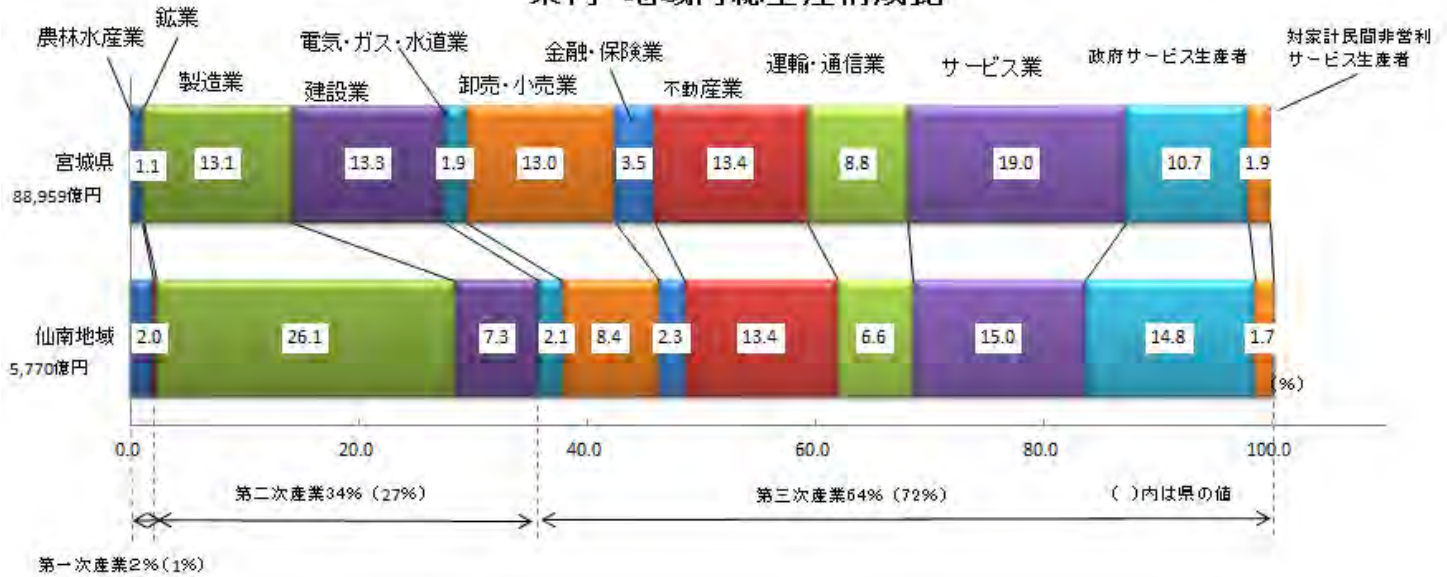
※ 表紙:みやぎ蔵王三十六景「円田水田」(逆さ蔵王)

大河原地方振興事務所では、仙南地域共有の財産である「蔵王」を活用して地域振興を進めるため、仙南2市7町の各地から「みやぎ蔵王三十六景」を選定し、シンボルマーク(裏表紙)を定めるとともに、みやぎ蔵王三十六景をテーマにした各種事業を展開しています。

このような地理的条件を活かし、地域内では多様な産業が展開されている。第一次産業では、稲作に偏らない果樹、畜産、特用林産物など多彩な農林畜産業が営まれている。第二次産業では、高速交通網を活用し、電子部品、輸送用機械、業務用機械などの製造業の集積が進んでいる。地域内総生産の構成比を見ると、仙南地域では製造業の占める割合が26.1%に達しており、県全体の13.1%を大きく上回っている。

第三次産業としては、豊かな自然環境を活かした観光関連産業が特筆される。大河原地方振興事務所では、これまでの温泉、スキー場といった観光資源に加え、蔵王の雄大な自然を有効かつ効果的に活用しながら、2市7町及び県が連携し、地域産業の振興を図るため、「みやぎ蔵王三十六景」をキーワードにしたさまざまな事業を進めている。

県内・地域内総生産構成比



※ 加算・控除項目である、開発、帰属利子等が含まれるため、数字の合計は100%にならない。

資料：(仙南地域)平成25年度宮城県市町村民経済計算 統計課
(宮城県)平成26年度宮城県民経済計算(確報) 統計課

データで見る仙南地域のすがた (圏域間の比較)

順位	面積(km ²)	人口(人)	1人当たり市町村民所得(千円)	製造品出荷額等(億円)	年間商品販売額(億円)	観光客入込数(千人)
1	仙台 1,648.80	仙台 1,528,508	仙台 2,880	仙台 22,480	仙台 87,872	仙台 35,570
2	仙南 1,551.40	大崎 205,925	石巻 2,726	仙南 5,873	大崎 3,326	大崎 9,132
3	大崎 1,523.82	石巻 193,051	仙南 2,338	大崎 5,105	石巻 3,247	仙南 6,019
4	栗原 804.97	仙南 177,192	大崎 2,262	石巻 3,301	仙南 2,490	石巻 3,177
5	石巻 721.29	登米 81,959	気仙沼 2,230	登米 1,179	気仙沼 1,356	登米 2,709
6	登米 536.12	気仙沼 77,358	栗原 2,170	栗原 1,026	登米 1,130	気仙沼 2,155
7	気仙沼 495.84	栗原 69,906	登米 2,142	気仙沼 758	栗原 1,021	栗原 1,891
	宮城県 7,282.22	宮城県 2,333,899	宮城県 2,857	宮城県 39,722	宮城県 100,441	宮城県 60,656

(H27.4.1ほか地域復興支援課) (平成27年国勢調査(確定値)) (平成25年度市町村民経済計算) (平成26年宮城県の工業(確報)) (平成26年宮城県の商業(確報)) (平成27年観光統計概要)

02 管内市町の概要



しろいしし
白石市

人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり

市章の由来：丸輪の黒釣り鐘の中に白の字が入っています。黒釣り鐘は、白石城主片倉公の軍旗、外円は合併町村が丸く収まるよう、白は白石市を表現しています。(昭和 29 年 4 月、市制施行にあたり公募の中から選定し、同年 10 月制定)

〔概要〕

宮城県南部に位置し、蔵王連峰と阿武隈山系に囲まれた白石盆地の中央に市街地が広がっている。南蔵王の雄大な自然に恵まれており、温泉地、スキー場など観光資源も豊富である。

東北新幹線、東北縦貫自動車道などの高速交通体系が整備され、国道 4 号、113 号、主要地方道など地域内交通の要衝として、仙南地域の中心地の一つとなっている。

市街地の骨格は、藩政時代に城下町として形成され、中核都市として安定した発展を遂げてきている。また、比較的コンパクトな都市の姿は、産業活動や労働の場、快適な住まいの場として、多くの人々を惹きつけ、これまでの産業基盤である農林畜産業、製造業に加え、先端技術産業が立地し、住宅開発も進められてきた。

第五次白石市総合計画では、「市民が共に支え合いながら、生きる力を育み、ふるさと白石に誇りをもてるまち」の実現に向け、「人」「暮らし」「環境」をまちづくりの 3 つの分野として位置づけ、市民一人ひとりによる新しい時代のまちづくりを推進している。

また、平成 27 年 10 月に策定した「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進し、その中でも「子育て支援」「学校教育の充実」「定住促進」の重点施策の充実に努め、「出生率」の向上と「社会減」の抑制を図ることとしている。

住 所

〒989-0292
白石市大手町 1 番 1 号

T E L

0224-25-2111

F A X

0224-24-4861

H P

<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/>

E-mail

koho@city.shiroishi.miyagi.jp

市 長

山田 裕一

副市長

菊地 正昭

面 積

286.47km²

人 口

35,213 人(H28. 12 末)

世 帯

14,151 世帯(H28. 12 末)

沿 革

S29 1 町 6 村が合併し市制施行

S32 小原村編入

基 本

第五次白石市総合計画

構 想

期間 H23～H32

選 挙

任期満了 首長 H32.11.13

議員 H31. 7.30

議員定数 18 人



かくだし
角田市

人と地域が輝く 田園交流都市 かくだ

市章の由来：「カクダ」のカの字を図案化したもので、なかの双葉はすくすくと成長する市の姿を象徴したものです。(昭和 34 年 1 月 1 日制定)

〔概要〕

宮城県南部に位置する角田市は、市の中央を阿武隈川が南北に貫流し、温暖な気候と美しい自然、豊富な水という良好な自然条件を備え、肥沃な耕地は古来より多くの恵みをもたらしている。

産業は、製造業を中心とする誘致企業が 20 社を数える一方、安全・安心をテーマに自然生態系に配慮した環境保全型農業を展開している。また、地域振興策として「新規転入者等への住宅取得支援」「企業支援」「子育て環境の整備」等を主な柱とする『定住促進、角田・いらっしやいプラン』を推進している。

平成 23 年 3 月に策定された、第 5 次長期総合計画では「人と地域が輝く 田園交流都市 かくだ」を新たな都市像に掲げており、食のブランド化による産業振興や企業誘致など、人が訪れる魅力ある環境づくりを積極的に行うことで、交流人口の拡大を図っている。特に、交流人口については、平成 32 年に 100 万人まで拡大することを目標としており、恵まれた自然資源や歴史資源の更なる活用、観光ニーズに対応した交流拠点施設の整備を進めることにより、目標達成に挑んでいる。

住 所

〒981-1592
角田市角田字大坊 41

T E L

0224-63-2111

F A X

0224-62-4829

H P

<http://www.city.kakuda.lg.jp/>

E-mail

seisaku@city.kakuda.lg.jp

市 長

大友 喜助

副市長

谷津 睦夫

面 積

147.53km²

人 口

30,097 人 (H28.12 末)

世 帯

11,326 世帯 (H28.12 末)

沿 革

S29 1 町 6 村が合併し角田町

S33 市制施行

基 本

角田市第五次長期総合計画

構 想

期間 H23～H32

選 挙

任期満了 首長 H32. 8. 9

議員 H31. 9.30

議員定数 18 人



ざおうまち
蔵王町

憧れのまち、蔵王をめざして。
We aim at town "ZAO" to long for

町章の由来：「ざおう」の「ざ」を図案化したもので、蔵王連峰を象徴する山の形と、特産のももの形が配されており、町の限りない飛躍と住民の融和を表しています。(一般公募により昭和34年3月制定)

<p>〔概要〕 仙南地域の北西部に位置し、町の西側に奥羽山脈に連なる蔵王連峰の山並みが続き、町の半分が高原となっている。国道4号や東北自動車道の白石IC、村田ICに隣接しているなど、交通の便に恵まれている。 伝統こけし、乳製品などの特産品とともに、モモ、ナシ、リンゴなどの果樹を中心とした園芸が盛んであり、また、蔵王山麓や丘陵地では大規模な畜産が営まれている。 遠刈田地区は、湯量の豊富な一大温泉街であり、年間を通じて本県有数の観光地域となっている。また、「みやぎ蔵王えぼしスキー場」や「すみかわスノーパーク」などのスキー場を有しているほか、遠刈田温泉街では各種のイベントを実施し、温泉街の活性化を図っている。</p>	<p>住 所 T E L F A X H P E-mail 町 長 副町長 面 積 人 口 世 帯 沿 革 基 本 構 想 選 挙</p>	<p>〒989-0892 蔵王町大字円田字西浦北 10 0224-33-2211 0224-33-4159 http://www.town.zao.miyagi.jp/machidukuri@town.zao.miyagi.jp 村上 英人 平間 喜久夫 152.83km² 12,447人(H28.12末) 4,487世帯(H28.12末) S30 宮村と円田村が合併し町制施行 第四次蔵王町長期総合計画 期間 H20～H29 任期満了 首長 H32.10.5 議 員 H32. 3. 5 議員定数 15人</p>
--	---	--



しちかしゆくまち
七ヶ宿町

町民が安心して暮らせる町づくり

町章の由来：七ヶ宿の「七」を平和の使徒・ハトをもって図案化しています。勢いよく羽ばたく姿に、将来の町の飛躍と発展の願いを込めて表現しています。(昭和41年9月 町制施行10周年を記念し制定)

<p>〔概要〕 福島県と山形県に接する宮城県の南西部に位置し、町の9割が山林で占められており、森林資源に恵まれた町である。江戸時代、奥州と羽州を結ぶ道が「山中七ヶ宿街道」と称され、7つの宿場があったことが町名の由来となっている。また、仙台市を含む県民183万人の水がめ「七ヶ宿ダム」を擁する水源の町でもある。 8月には七ヶ宿街道をわらじで歩く「わらじで歩こう七ヶ宿」を実施し、多くの参加者に好評を得ている。また、2月には雪だるま・雪像コンテストなどが開催される。 七ヶ宿スキー場内に、オートキャンプ場、コテージを整備、冬のスキーに加え、自然の中でのキャンプなどオールシーズン楽しめるエリアとなっている。また、気候を活かした良質のそばが収穫され、素材にこだわった七ヶ宿そば街道が人気となっている。</p>	<p>住 所 T E L F A X H P E-mail 町 長 副町長 面 積 人 口 世 帯 沿 革 基 本 構 想 選 挙</p>	<p>〒989-0592 七ヶ宿町字関 126 0224-37-2111 0224-37-2468 http://www.town.shichikashuku.miyagi.jp shichi21@poplar.ocn.ne.jp 小関 幸一 斎藤 一重 263.09km² 1,502人(H28.12末) 652世帯(H28.12末) S32 町制施行 第五次七ヶ宿町長期総合計画 期間 H22～H31 任期満了 首長 H30. 9.23 議 員 H30. 9.23 議員定数 9人</p>
--	---	---



おおがわらまち
大河原町

認めあい、支えあい、活かしあう

「開かれた先進のまち、おおがわら」

町章の由来：大河原の“大”を明快に図案化し、円は町民の融和、団結を表し、“鳥形”の“大”は町勢の発展伸長を象徴したものです。

【概要】

仙南地域の中央部に位置し、仙南地域では最も面積が狭い町であるが、国・県・広域行政事務組合等の出先機関や施設が集積しており、仙南地域の行政機能の中心的な町となっている。

また、江戸時代には奥州街道の宿場町として栄え、以来、商業・各種サービス業が集積し「仙南の商都」として発展してきた。近年では、国道4号バイパス沿いや小島地区、広表地区にショッピングセンターや専門店を主体とした商業施設の集積度が高まっている。

町の中心を流れる白石川の堤には「一目千本桜」と呼ばれる桜並木が続いており、春には花見客で賑わいをみせている。また、初夏には町の産業として地域おこしにもなっている梅、冬は白鳥の町としても親しまれている。

近年増大している住民の医療ニーズへの対応としては、平日夜間における疾病等の初期診療に当たる「仙南夜間初期急患センター」、より高度な医療を提供する「みやぎ県南中核病院(運営：みやぎ県南中核病院企業団)」により、圏域の地域医療の中心的役割を担っている。

住 所	〒989-1295 大河原町字新南 19
T E L	0224-53-2111
F A X	0224-53-3818
H P	http://www.town.ogawara.miyagi.jp/
E-mail	info@town.ogawara.miyagi.jp
町 長	齋 清志
副町長	藤田 秀明
面 積	24.99km ²
人 口	23,624 人(H28.12 末)
世 帯	9,448 世帯(H28.12 末)
沿 革	S31 大河原町と金ヶ瀬村が合併
基 本	大河原町経営計画
構 想	(第5次長期総合計画)
	期間 H23～H30
選 挙	任期満了 首長 H32.10.27
	議員 H29.4.30
	議員定数 15 人



むらたまち
村田町

みんなが育てる自分たちのまち 村田

～ 暮らす人が創るまち ～

町章の由来：村田の「む」を図案化したもので、崇高なる山の姿を取り入れ、町の和と飛躍した恒久発展の姿を象徴したものです。(昭和35年5月16日 一般公募により制定)

【概要】

仙南地域の北東部に位置し、標高200m前後の丘陵に囲まれた田園地帯であり、江戸時代には仙台と山形を結ぶ交通の要衝地とされていた。近年は東北自動車道村田ICに隣接する工業団地に、製造業を中心とした多くの企業が進出している。また、東北自動車道村田ジャンクションから山形県日本海側へと通じる山形自動車道が延び、交通体系の拠点としての重要性は非常に大きい。

町中心部には、土蔵や豪勢な門構えを備えた「蔵の町並み」が続き、「みちのく宮城の小京都」として親しまれ、「みやぎ村田町 蔵の陶器市」など、蔵の町並みを利用したイベントも数多く開催されている。

平成26年には蔵の町並みの特徴ある歴史的風致が希少な価値をもつ文化財として評価され、宮城県では初めて国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された。

また「歴史と蔵とふれあいの里 道の駅 村田」は、歴史みらい館等の特色ある施設が隣接して整備され、季節を問わず賑わいをみせている。

住 所	〒989-1392 村田町大字村田字迫 6
T E L	0224-83-2111
F A X	0224-83-5740
H P	http://www.town.murata.miyagi.jp/
E-mail	mura-kik@town.murata.miyagi.jp (企画財政課)
町 長	佐藤 英雄
副町長	高橋 徳夫
面 積	78.38km ²
人 口	11,412 人 (H28.12 末)
世 帯	3,981 世帯 (H28.12 末)
沿 革	S30 村田町、沼辺村、富岡村大字菅生地区が合併
	S35 川崎町支倉の一部を編入
基 本	第四次 村田町長期総合計画
構 想	期間 H23～H32
選 挙	任期満了 首長 H31.8.27
	議員 H31.8.27
	議員定数 14 人



しばたまち
柴田町

みんな育てる 笑顔輝く 元気なまち

町章の由来：柴田の2字を図案化したもので柴田町の興隆を象徴しています。この町章は、昭和36年12月20日町民から募集した作品をもとに制定しました。力強く飛翔する柴田町をデザインしたものです。

<p>〔概要〕</p> <p>仙南地域の北東部に位置し、町の中央部を白石川が流れ、町の東部で阿武隈川と合流している。旧船岡町は城下町、旧槻木町は宿場町として栄えたが、現在、仙台都市圏と隣接していること、また国道4号、JR東北本線、阿武隈急行線など交通の便がよいこともあり仙台のベッドタウンとして発展している。</p> <p>また、先端技術、機械、電気、食料品等の工場が進出し、工業生産規模でも県内有数の位置にある。商業も大規模店の出店等により集積度を高めており、農業においても稲作を始め四季折々の花卉の栽培が盛んで町の特産品として県内外へ出荷されている。</p> <p>船岡城址公園、白石川堤の一目千本桜は全国有数の桜の名所であり、毎年多くの観光客が訪れている。平成27年3月にこの2か所を結ぶ「しばた千桜橋」が開通。さらに、船岡城址公園は紫陽花や曼珠紗華、菊といった季節の花々で彩られ、花のまち柴田を象徴する観光拠点として賑わいを増している。</p>	<p>住 所</p> <p>T E L</p> <p>F A X</p> <p>H P</p> <p>E-mail</p> <p>町 長</p> <p>副町長</p> <p>面 積</p> <p>人 口</p> <p>世 帯</p> <p>沿 革</p> <p>基 本</p> <p>構 想</p> <p>選 挙</p>	<p>〒989-1692 柴田町船岡中央 2-3-45</p> <p>0224-55-2111</p> <p>0224-55-4172</p> <p>http://www.town.shibata.miyagi.jp/plan@town.shibata.miyagi.jp (まちづくり政策課)</p> <p>滝口 茂</p> <p>水戸 敏見</p> <p>54.03km²</p> <p>38,299人(H28.12末)</p> <p>15,530世帯(H28.12末)</p> <p>S31 船岡町と槻木町が合併 第五次柴田町総合計画 期間 H23～H30</p> <p>任期満了 首長 H30. 7.27 議 員 H29. 3.31 議員定数 18人</p>
---	--	--



かわさきまち
川崎町

自然と共生したホッとなまち

町章の由来：川崎の川を三重丸で表し、円は町民円満と団結の強さを示し、町の中心部を流れる北川、前川及び太郎川の三大河川を象徴したものです。

<p>〔概要〕</p> <p>仙南地域の北部、仙台市と山形市の中間に位置しており、雄大な自然が織りなす美しい景観ときれいな水からつくり出される安全な農林水産物、先人たちが築き上げた伝統文化など素晴らしい資源がたくさんある。</p> <p>仙南圏では、唯一名取川水系に属し、仙台市の水瓶である「釜房ダム」を有し、その自然環境を活かした「国営みちのく杜の湖畔公園」が隣接しているなど、水源郷の町でもある。</p> <p>仙台市に近く、山形自動車道(東北横断自動車道)のICが2ヶ所整備されており、交通アクセスが充実している。</p> <p>また、町の西部は蔵王国定公園に属し、豊かな自然や温泉に恵まれており、「蔵王おろし」の防風林が町独特の景観を作り出している。</p> <p>レジャー施設は、上記みちのく公園、みやぎ蔵王セントメリーズスキー場、ポートピア川崎などが整備され、仙台近郊のレクリエーションエリアとしての役割も高まっている。</p> <p>また、そば、こんにゃく、銀杏等の特産品があり、地場産業等の開発に取り組んでいる。</p>	<p>住 所</p> <p>T E L</p> <p>F A X</p> <p>H P</p> <p>E-mail</p> <p>町 長</p> <p>副町長</p> <p>面 積</p> <p>人 口</p> <p>世 帯</p> <p>沿 革</p> <p>基 本</p> <p>構 想</p> <p>選 挙</p>	<p>〒989-1592 川崎町大字前川裏丁 175-1</p> <p>0224-84-2111</p> <p>0224-84-6789</p> <p>http://www.town.kawasaki.miyagi.jp/soumu@town.kawasaki.miyagi.jp (総務課)</p> <p>小山 修作</p> <p>佐藤 孝行</p> <p>270.77km²</p> <p>9,086人(H28.12末)</p> <p>3,294世帯(H28.12末)</p> <p>S30 川崎町、富岡村大字支倉地区が合併 第五次川崎町長期総合計画 期間 H23～H32</p> <p>任期満了 首長 H31. 8. 27 議 員 H32. 3.31 議員定数 14人</p>
---	--	---



まるもりまち
丸森町

人と地域が輝き 豊かで元気なまち・まるもり

～一人ひとりの“郷土愛”で未来につなげるまちづくり～

町章の由来：丸森のマルを図案化したもの。円は町の和を，中心の三角形は町を末広がり発展させてゆくことを象徴させたものです。(昭和34年制定)

<p>〔概要〕</p> <p>福島県に隣接する宮城県最南端の町で，町の北部を東北で第2の長さを誇る一級河川阿武隈川が流れており，町の南東部と北西部には300～500m前後の山々が連なり盆地を形成している。町には8つの地区があり，各住民自治組織を中心に，地域の特徴を活かして町民が主体的に活動する「地域が輝くまちづくり」を目指している。</p> <p>地域資源である「不動尊公園キャンプ場」「阿武隈ライン舟下り」「蔵の郷土館齋理屋敷」を中心とした観光，豊かな自然や農産品を活かしたグリーン・ツーリズムに加えてインバウンドを推進し，交流人口の拡大を目指している。また，定住人口の増加にも取り組んでおり，移住・定住サポートセンターを設置し，移住希望者への情報提供や相談業務を行っている。</p> <p>町の基幹産業は農業であり，稲作と畜産が生産額の大半を占め，近年は園芸作物の振興にも力を入れている。また，企業誘致の推進と地域産業の振興，「CULASTA（クラスタ）」を拠点とした起業支援などによる雇用の創出，「東北放射光施設」の誘致実現に向けた取り組みを進めている。</p>	<p>住 所 〒981-2192 丸森町字鳥屋 120</p> <p>T E L 0224-72-2111</p> <p>F A X 0224-72-1540</p> <p>H P http://www.town.marumori.miyagi.jp/</p> <p>E-mail marumori@town.marumori.miyagi.jp (代表)</p> <p>町 長 保科 郷雄</p> <p>副町長 佐藤 仁一郎</p> <p>面 積 273.30km²</p> <p>人 口 14,244人(H28.12末)</p> <p>世 帯 5,089世帯(H28.12末)</p> <p>沿 革 S29 2町6村が合併</p> <p>基 本 第五次丸森町総合計画</p> <p>構 想 期間 H27～H36 (前期基本計画 H27～H31)</p> <p>選 挙 任期満了 首長 H31.1.13 議員 H31.11.30 議員定数 14人</p>
--	---



仙南地域広域行政事務組合

組合章の由来：仙南のアルファベットの頭文字の「S」と9市町の「9」及び広域の「広」の文字をデザインしたもの。周りの円は，2市7町の調和，連携，心豊かな広域圏を表し，その内から上に伸びる三角の部分は，限りない発展を表現しています。(平成2年7月6日制定)

<p>共同処理事務</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 視聴覚教材センターの設置，管理及び運営 2 消防事務（消防団関係を除く） 3 一般廃棄物の処分並びに一般廃棄物処理施設の設置，管理及び運営 4 火葬場の設置，管理及び運営 5 文化交流広場の設置，管理及び運営 6 広域圏活性化プロジェクト中核施設の設置，管理及び運営 7 仙南広域圏の振興発展に資する事業の実施 8 介護認定審査会の設置及び運営 9 知事の権限に属する液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の規定による事務のうち構成市町において処理することとされた事務 10 知事の権限に属する火薬取締法の規定による事務のうち構成市町において処理することとされた事務 11 構成市町において地方税法に係る滞納事案のうち，移管された事案に係る滞納税の徴収及び滞納処分 12 市町村審査会の設置及び運営 	<p>住 所 〒989-1264 大河原町字新青川 1-1</p> <p>T E L 0224-52-2628</p> <p>F A X 0224-52-2660</p> <p>H P http://www.az9.or.jp/</p> <p>E-mail soumuka@az9.or.jp</p> <p>理事長 滝口 茂</p> <p>理 事 山田 裕一， 大友 喜助， 村上 英人， 小関 幸一， 齋 清志， 佐藤 英雄， 小山 修作， 保科 郷雄</p> <p>助 役 岩間 利裕</p> <p>沿 革 S45 設立</p>
--	---

03 人口

仙南地域の人口は、平成7年の国勢調査をピークに減少傾向にあり、平成27年10月1日現在では177,192人とピーク時の89.8%まで減少している。地域の人口が減少傾向にある中、大河原町は増加傾向、柴田町は現状維持傾向にある。

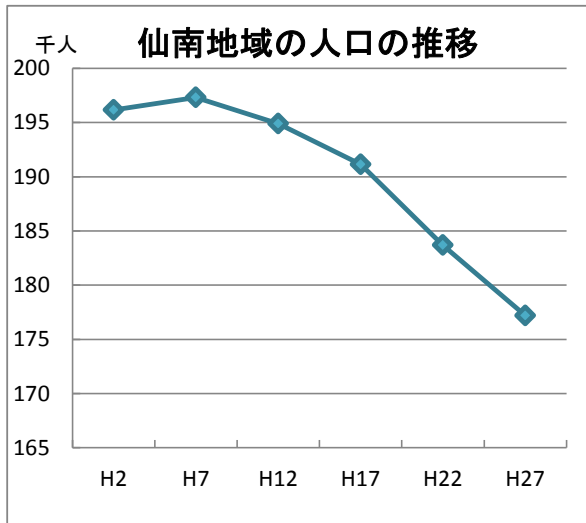
また、高齢化はさらに進んでおり、平成28年3月末現在の仙南地域の高齢化率は30.5%まで上昇し、県の高齢化率25.6%よりも4.9ポイント高くなっている。また、全9市町で前年度を上回っている。特に七ヶ宿町の高齢化率は46.3%と県内で最も高い。

◆市町別人口の推移

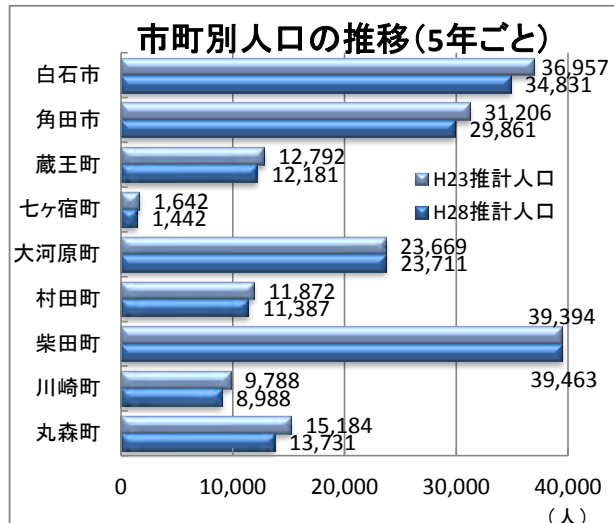
(単位:人)

	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H27/H22
白石市	42,030	41,852	40,793	39,492	37,422	35,272	94.3%
角田市	35,431	35,316	34,354	33,199	31,336	30,180	96.4%
蔵王町	14,074	13,915	13,545	13,318	12,882	12,316	95.7%
七ヶ宿町	2,208	2,174	2,034	1,871	1,694	1,461	86.1%
大河原町	20,901	21,995	22,767	23,335	23,530	23,798	101.1%
村田町	13,632	13,539	13,166	12,740	11,995	11,501	95.9%
柴田町	37,315	38,749	39,485	39,809	39,341	39,525	100.5%
川崎町	10,797	10,829	10,872	10,583	9,978	9,167	91.9%
丸森町	19,755	18,941	17,868	16,792	15,501	13,972	90.2%
仙南地域	196,143	197,310	194,884	191,139	183,679	177,192	96.5%
宮城県	2,248,558	2,328,739	2,365,320	2,360,218	2,348,165	2,333,899	99.4%

出典:国勢調査



出典:国勢調査



出典:宮城県推計人口(統計課) ※各年10月1日現在

◆世帯数(平成28年12月末現在)

宮城県	仙南地域	対県比	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町
969,332	67,643	7.0%	14,071	11,269	4,408	646	9,456	3,970	15,455	3,283	5,045

出典:日本人住民基本台帳人口及び世帯数(統計課)

◆市町村別高齢化率

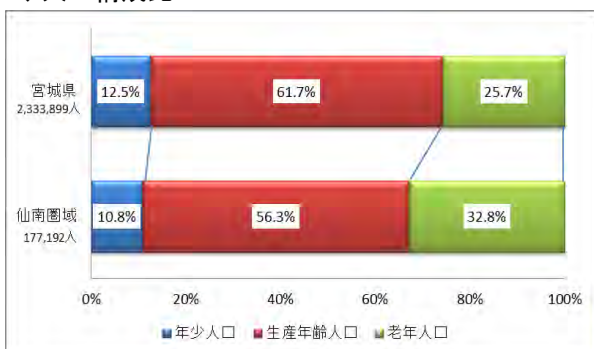
(単位:%)

	H22.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3
白石市	27.5	27.6	28.5	29.4	30.4	31.7
角田市	26.7	27.0	28.1	29.3	30.5	31.6
蔵王町	28.0	28.5	29.6	30.3	31.8	32.8
七ヶ宿町	43.8	43.2	43.2	44.6	45.8	46.3
大河原町	22.0	22.4	23.3	24.1	24.8	25.5
村田町	26.5	27.0	28.1	29.0	29.7	31.0
柴田町	21.8	22.8	24.0	25.2	26.1	27.0
川崎町	27.4	27.1	28.2	29.5	31.0	32.7
丸森町	33.1	33.4	34.4	35.0	36.0	37.3
仙南地域	26.1	26.4	27.5	28.4	29.4	30.5
宮城県	22.2	22.5	23.3	24.0	24.8	25.6

出典:宮城県高齢者人口調査(長寿社会政策課)

※H23.3月については、東日本大震災のため調査せず。

◆人口構成比



出典:H27国勢調査

※ 不詳が含まれているため、割合を合計しても100%にならない。

04 福祉

仙南地域における平成28年3月末現在の特別養護老人ホーム入居者数は1,144人で、前年比で67人増加、一人暮らし老人数は5,894人と前年比1人の増加となっており、高齢化の進展に伴って支援を必要とする高齢者が増加している。また、特別養護老人ホーム数は23施設と前年と同数で、デイサービスセンターは60施設で前年比で3施設増となっており、要援護高齢者の増加等施設・サービスのニーズや介護保険事業(支援)計画を踏まえ、整備が行われている。

障害者については、平成28年3月末現在の身体障害者手帳所持者は6,873人で、概ね6,900人前後で推移している。また、療育手帳所持者は1,796人、精神保健手帳所持者は932人となっており、近年は増加する傾向にある。

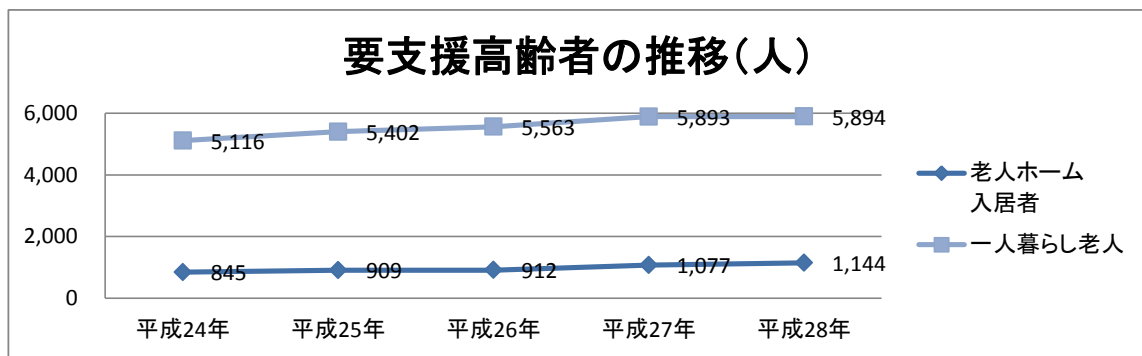
◆要援護高齢者の推移

(単位:人)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
老人ホーム入居者	845	909	912	1,077	1,144
一人暮らし老人	5,116	5,402	5,563	5,893	5,894

※老人ホーム入居者:特養分のみ

(各年3月末現在)



◆老人福祉の状況

(単位:施設)

内容	数	内容	数	内容	数
養護老人ホーム	1	有料老人ホーム	11	小規模多機能型居宅介護事業所	4
特別養護老人ホーム	23	デイサービスセンター	60	老人保健施設	10
認知症高齢者グループホーム	25	地域包括支援センター	10	軽費老人ホーム	2

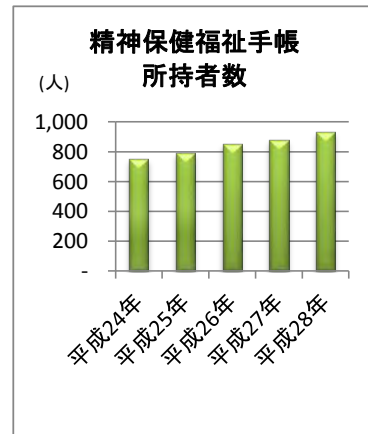
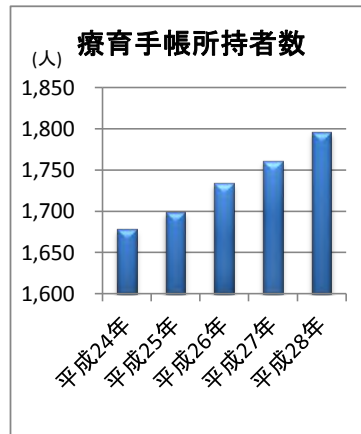
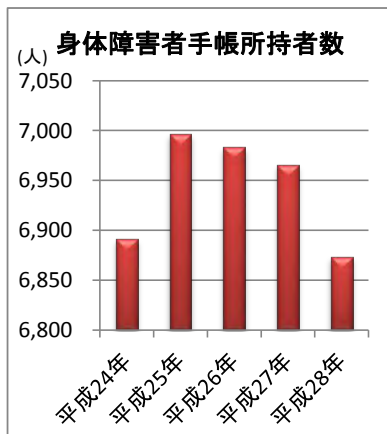
(平成28年3月末現在)

◆障害者手帳所持者の推移

(各年3月末現在)

(単位:人)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
身体障害者手帳所持者数	6,891	6,996	6,983	6,965	6,873
療育手帳所持者数	1,678	1,699	1,734	1,761	1,796
精神保健福祉手帳所持者数	747	789	850	879	932



05 保健環境

仙南地区の平成28年10月1日現在の病院数は13施設(前年と同数)、一般診療所数は116施設(前年より1施設増)、歯科診療所数は70施設(前年と同数)となっている。また、病院の病床数は、1,925床(前年より9床減)、一般診療所は115床(前年度と同数)となっている。

平成27年の仙南地区の出生数は1,148人で前年の1,129人より19人増加となり、死亡数は2,310人で前年の2,216人より94人増加となっている。

また、仙南地区の一般ごみ・し尿は現在、仙南広域行政事務組合の各施設で処理されており、平成27年度の処理量は前年と比べて一般ごみで計46トンの増加(焼却99トン増加、粗大53トン減少)、し尿で176kℓの減少となっている。

◆仙南地区の医療機関及び病床数(人口10万人対)

	病院	一般診療所	歯科診療所	病院病床数 (精神)	病院病床数 (療養・一般)	一般診療所 病床数
白石圏	8.2	77.5	34.7	440.4	1098.9	57.1
角田圏	9.1	49.8	38.5	0.0	747.4	126.8
柴田圏	6.0	64.3	42.9	463.1	538.2	36.9
仙南地区	7.3	64.3	39.5	341.4	745.5	64.9
宮城県	6.0	70.5	45.4	266.0	810.9	77.7

出典: H26医療施設動態調査

◆市町別医療機関(H28.10.1現在)

市町名	病院数	病床数	一般診療所		歯科診療所
			箇所	病床数	
白石市	3	716	29	9	14
角田市	3	240	16	37	12
蔵王町	1	38	7	19	3
七ヶ宿町	0	0	3	0	0
大河原町	1	310	18	0	16
村田町	0	0	9	0	4
柴田町	2	215	24	31	14
川崎町	2	316	4	0	2
丸森町	1	90	6	19	5
仙南合計	13	1,925	116	115	70
県計	140	25,406	1,689	1,799	1,073

◆市町村別出生・死亡者数(H27年)

市町名	出生数	死亡数
白石市	211	476
角田市	153	420
蔵王町	92	194
七ヶ宿町	2	35
大河原町	217	233
村田町	68	142
柴田町	297	393
川崎町	36	142
丸森町	72	275
仙南合計	1,148	2,310
県計	17,999	23,070

出典: H27衛生統計年報

◆救急告示医療機関(H29.1.1現在)

病院名	住所	電話
公立刈田総合病院	白石市福岡蔵本字下原沖36	25-2145
大泉記念病院	白石市福岡深谷字一本松5-1	22-2111
蔵王町国保病院	蔵王町大字円田字和田130	33-2260
みやぎ県南中核病院	大河原町字西38-1	51-5500
国保川崎病院	川崎町大字前川字北原23-1	84-2119
丸森町国保病院	丸森町字鳥屋27	72-2131
登米整形外科医院	丸森町字千刈場7	72-2266

◆仙南地区出生数・死亡数の推移

年	出生数	死亡数
H21	1,307	2,080
H22	1,293	2,208
H23	1,200	2,383
H24	1,217	2,303
H25	1,256	2,217
H26	1,129	2,216
H27	1,148	2,310

出典: H27衛生統計年報

◆管内一般廃棄物の処理状況

(1)焼却施設と処理実績

(単位:トン)

施設名	H26年度	H27年度	利用市町	処理方式	竣工年月	処理能力
仙南地域広域行政事務組合	45,025	45,124				
角田衛生センター第二事業所	28,251	28,440	白石市, 角田市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 村田町, 川崎町, 丸森町	ストーカ	H4. 3	120t/日
大河原衛生センター	16,774	16,684	大河原町, 柴田町	流動床	H8.11	100t/日

(2)粗大ごみ処理施設と処理実績

(単位:トン)

施設名	H26年度	H27年度	利用市町	処理方式	竣工年月	処理能力
仙南地域広域行政事務組合 仙南リサイクルセンター	6,546	6,544	仙南2市7町	破碎	H1.10	50t/日
うち資源回収量	4,993	4,942				

(3)し尿処理施設と処理実績(し尿+浄化槽汚泥)

(単位:kℓ)

施設名	H26年度	H27年度	利用市町	処理方式	竣工年月	処理能力
仙南地域広域行政事務組合	51,675	51,499	仙南2市7町			
角田衛生センター第一事業所	20,496	20,316		高負荷	S63.3	68kℓ/日
柴田衛生センター	31,179	31,183		高負荷	S60.10	110kℓ/日

出典:一般廃棄物処理事業実態調査による [(1)~(3)]

06 商業

仙南地域の商圈は、直近の調査(平成27年11月)では大河原商圈のみとなっている。白石商圈については、名取商圈への流出が増加し地元購買率が低下したことから、前回調査以降は形成に至っていない。大河原商圈は前回調査より1町増加して2市7町となり、1次商圈は村田町、大河原町、蔵王町の3町、2次商圈は新たに七ヶ宿町が加わり2市4町となった。買回品の吸引状況は、前回調査では全ての市町で吸引率が減少していたが、今回調査では七ヶ宿町、丸森町の吸引率が増加し、2市5町の吸引率が減少した。なかでも蔵王町が16.9ポイント、川崎町が10.0ポイント減少した。

仙南地域の商業は、平成26年7月1日現在、事業所数が1,921所、従業者数12,240人となっている。前回調査(平成24年2月1日)と比較して、事業者数は減少したが、従業者数は増加している。

◆仙南地域の商圈人口・吸引人口の推移

(単位:人)

	平成20年			平成24年			平成27年		
	商圈人口	吸引人口	吸引率	商圈人口	吸引人口	吸引率	商圈人口	吸引人口	吸引率
白石商圈	54,012	17,591	32.6%	-	-	-	-	-	-
大河原商圈	188,313	74,807	39.7%	181,985	64,797	35.6%	183,679	55,218	30.1%

※大河原商圈…大河原町を中心として形成されている。平成27年調査時点で、1次商圈は蔵王町、大河原町、村田町、2次商圈は白石市、角田市、七ヶ宿町、柴田町、川崎町、丸森町。

出典:宮城県の商圈(商工金融課)

◆市町別商業データ(卸売・小売業)

【事業所数、従業者数】

(単位:事業所,人)

	平成21年		平成24年		平成26年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
白石市	476	2,794	416	2,457	400	2,729
角田市	384	2,208	329	1,954	314	1,903
蔵王町	155	779	135	695	137	661
七ヶ宿町	28	86	23	87	23	97
大河原町	390	2,886	348	2,692	354	2,550
村田町	159	986	140	882	129	841
柴田町	355	2,754	308	2,259	303	2,331
川崎町	132	540	118	519	118	490
丸森町	164	755	147	639	143	638
仙南地域	2,243	13,788	1,964	12,184	1,921	12,240
県合計	31,111	256,178	19,393	158,755	27,452	229,946
県対比	7.2%	5.4%	10.1%	7.7%	7.0%	5.3%

出典 平成26年経済センサス-基礎調査(基準日:平成26年7月)(総務省)

平成24年経済センサス-活動調査(基準日:平成24年2月)(総務省)

平成21年経済センサス-基本調査(基準日:平成21年7月)(総務省)

◎用語の説明

「商圈」

…買回品の地元購買率が30%以上で、かつ吸引率が15%以上の市区町村を有する場合、商圈が形成されていると定義する。

「購買先支持率(吸引率)」
…どこの市区町村を買回品の買い物先としているかの割合で、商圈中心市区町村から見れば「吸引率」となる。

「1次商圈」

…商圈中心市区町村に対する購買先支持率が30%以上の市区町村の範囲。

「2次商圈」

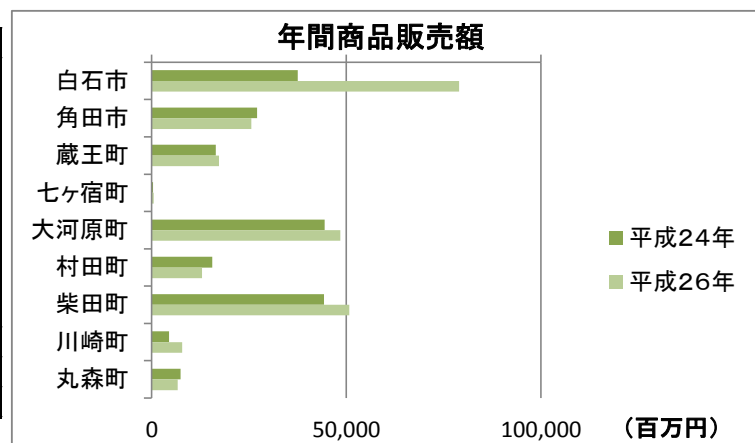
…商圈中心市区町村に対する購買先支持率が15%以上30%未満の市区町村の範囲。

【年間商品販売額】

(単位:百万円)

	平成24年	平成26年
白石市	37,539	78,969
角田市	27,066	25,563
蔵王町	16,489	17,294
七ヶ宿町	324	511
大河原町	44,397	48,428
村田町	15,541	12,946
柴田町	44,216	50,728
川崎町	4,453	7,845
丸森町	7,429	6,672
仙南地域	197,454	248,956
県合計	9,023,394	10,044,140
県対比	2.2%	2.5%

出典:商業統計調査(統計課)



07 工業

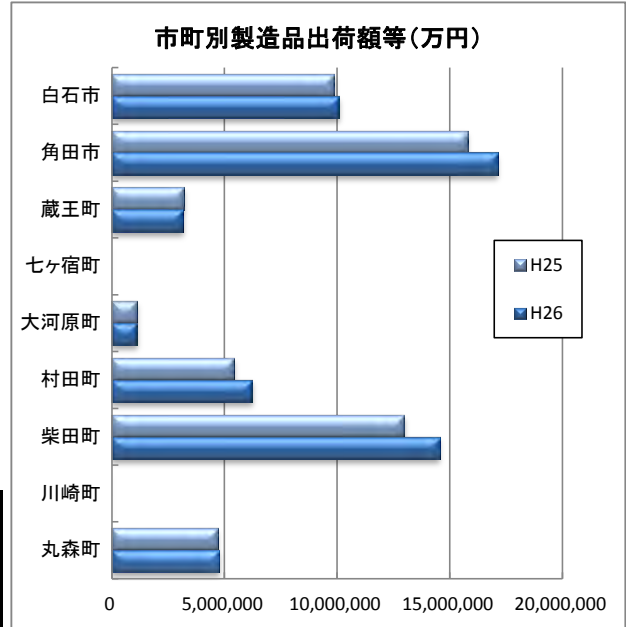
仙南地域の工業(従業者4人以上の事業所)は、平成26年12月31日現在、事業所数331所(県内構成比12.5%、昨年比19事業所の減)、従業者数20,799人(県内構成比19.0%、昨年比252人の減)、製造品出荷額等5,873億円(県内構成比14.8%、昨年比402億円の増)となっており、仙台地域に次ぐ工業地域である。

平成20年の世界同時不況により、大幅に減少した製造品出荷額等は一時持ち直しの動きが見られたものの、平成23年には東日本大震災の影響で減少した。その後、平成26年には上昇傾向に転じているが、東日本大震災の影響が一部であると思われ、平成22年(6,345億円)の92%程度となっている。

◆市町別工業データ(従業者4人以上 平成26年12月31日現在)

地域	項目	事業所数(所)	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
白石市		58	3,847	10,085,274
角田市		60	5,796	17,119,518
蔵王町		34	1,259	3,160,783
七ヶ宿町		2	119	x
大河原町		31	929	1,119,238
村田町		31	2,062	6,231,304
柴田町		51	4,698	14,536,995
川崎町		23	726	x
丸森町		41	1,363	4,751,318

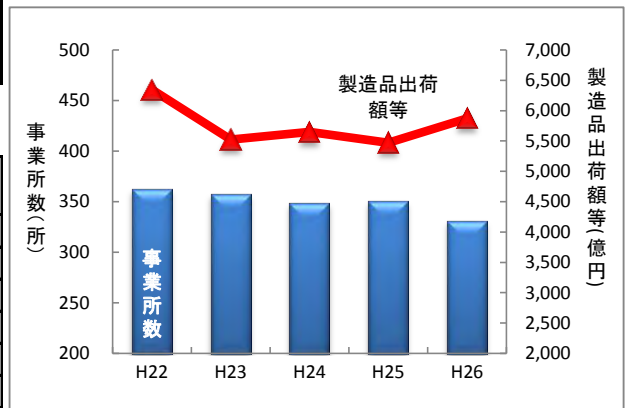
※製造品出荷額等のxは、秘匿処理したもの。



◆地域別工業データ

(従業者4人以上 平成26年12月31日現在)

地域	項目	事業所数(所)	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
仙南地域		331	20,799	58,731,963
仙台地域		1,176	47,137	224,802,248
大崎地域		352	17,209	51,052,624
栗原地域		156	5,828	10,259,888
登米地域		158	5,536	11,785,862
石巻地域		322	8,838	33,007,631
気仙沼・本吉地域		152	3,561	7,576,932
県合計		2,647	108,908	397,217,148



◆仙南地域の工業の推移(各年12月31日現在)

項目	年度	H22	H23	H24	H25	H26
事業所数(所)		362	357	348	350	331
県全体		(3,084)	(2,668)	(2,668)	(2,693)	(2,647)
従業者数(人)		22,465	20,698	20,091	21,051	20,799
県全体		(116,511)	(102,510)	(104,210)	(107,580)	(108,908)
製造品出荷額等(億円)		6,345	5,522	5,647	5,471	5,873
県全体		(35,689)	(27,673)	(33,392)	(37,265)	(39,721)

※H23は平成24年2月1日現在

出典:宮城県の工業(統計課)

◆仙南地域の製造品出荷額の推移(各年12月31日現在)

単位:百万円

年度順位	品名	H22	H23	H24	H25	H26				
1	電子部品	118,661	輸送用機械	88,587	輸送用機械	88,342	輸送用機械	83,627	電子部品	90,103
2	輸送用機械	79,876	電子部品	74,569	情報通信機械	61,564	食料品	68,881	輸送用機械	82,243
3	情報通信機械	68,017	食料品	54,434	電子部品	60,529	電子部品	65,418	食料品	66,725
4	食料品	64,174	電気機械	39,983	食料品	60,403	電気機械	48,959	電気機械	48,444
5	電気機械	41,467	業務用機械	38,630	電気機械	45,411	情報通信機械	37,308	業務用機械	42,480
6	非鉄金属	37,403	非鉄金属	36,046	鉄鋼	35,466	業務用機械	32,806	情報通信機械	38,001

出典:宮城県の工業(統計課) ※加工賃収入額, その他収入額は含まない。

08 労働

仙南地域では、平成7年調査をピークに就業者数の減少が続いている。産業3部門では、第一次及び第二次産業で減少が続いている。一方、第三次産業では増加していたが、平成22年調査で減少に転じた。産業3部門の構成割合は、第三次産業で平成12年調査以降5割を超えている。

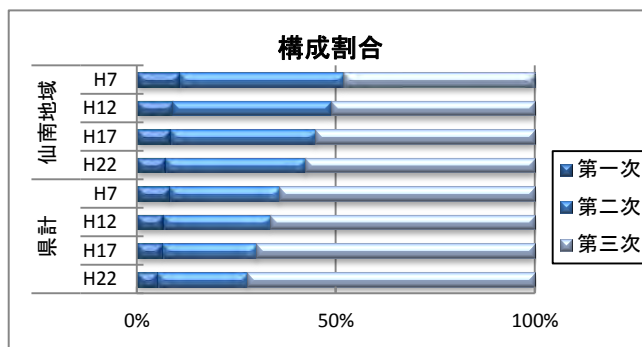
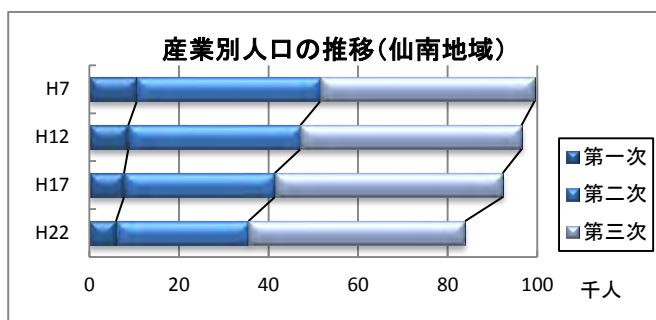
職業能力開発施設である宮城県立白石高等技術専門校では、情報化時代を担う人材育成を目指し、高度なデジタル通信技術や情報処理などの情報系を中心とした訓練を行っている。

仙南地域の有効求人倍率については、大河原公共職業安定所及び同白石出張所管内ともに、東日本大震災の復旧・復興事業の進展に伴って、堅調な伸びを示してきた。白石は1倍程度で推移しているが、大河原は平成26年3月の0.92倍をピークにその後下降したが、その後微増に転じ、現在0.8倍程度となっている。

◆産業別人口の推移(分類不能を除く)

(単位:人)

年次	平成7年				平成12年				平成17年				平成22年			
	仙南地域		構成比 %		仙南地域		構成比 %		仙南地域		構成比 %		仙南地域		構成比 %	
種別	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計	仙南地域	県計
第一次	10,607	95,534	10.7	8.2	8,703	74,909	9.0	6.6	7,746	68,985	8.4	6.3	5,958	53,219	7.1	5.1
第二次	40,966	319,950	41.2	27.6	38,441	308,345	39.8	27.0	33,664	260,754	36.5	23.8	29,585	234,210	35.3	22.6
第三次	47,818	743,999	48.1	64.2	49,359	759,343	51.1	66.5	50,887	765,734	55.1	69.9	48,361	746,752	57.6	72.2
合計	99,391	1,159,483	100.0	100.0	96,503	1,142,597	100.0	100.0	92,297	1,095,473	100.0	100.0	83,904	1,034,181	100.0	100.0



出典: 国勢調査

◆白石高等技術専門校の職業訓練実施計画

○平成29年度普通職業訓練(普通課程—高卒コース)

科名	訓練期間	定員(人)	訓練内容	平成28年度修了者
通信システムエンジニア科	2年	1年 20	情報通信分野の無線、有線両部門における高度に情報化された電気通信システムに、幅広く適応できる知識と技術を習得します。	7人
		2年 20		16人
プログラムエンジニア科	2年	1年 20	コンピュータの操作やプログラム作成等システムの開発、保守、運用などの業務に適応できる知識と技術を習得します。	14人
		2年 20		17人
計		80		54人

○平成29年度普通職業訓練(短期課程—離転職者、在職者コース)

◇離転職者対象コース

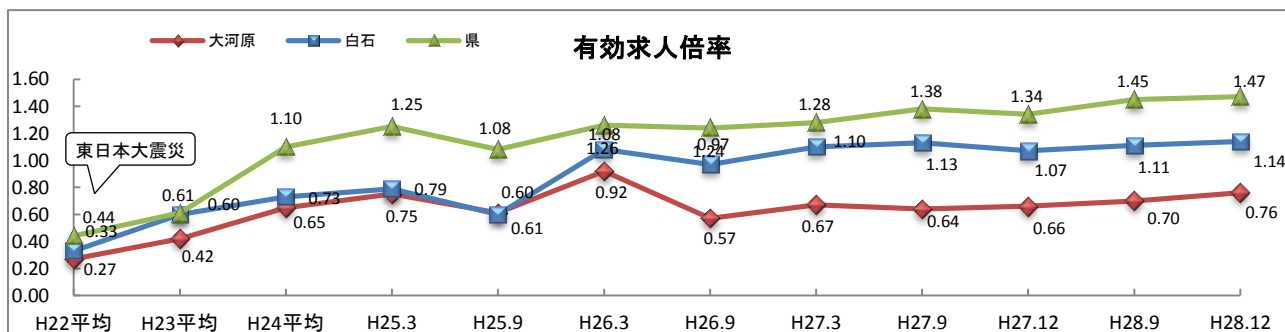
科名	訓練期間	延定員(人)	回数
造園科	6ヶ月	10	1回 施設内
電気通信工事科	6ヶ月	10	1回 施設内
ビジネスソフトウェア科(予定)	6ヶ月	20	1回 委託
IT基礎科(予定)	3ヶ月	80	4回 委託
介護初任者研修科(予定)	3ヶ月	45	3回 委託
その他9コース(予定)		180	10回 委託
計		345	20回

◇在職者対象コース(予定)

科名	延定員(人)	回数	備考
通信システムエンジニア系	50	5回	訓練期間は、各2日間(12時間)
プログラムエンジニア系	50	5回	
IT基礎系	100	10回	
オーダーメイド訓練	70	7回	
計	270	27回	

◆有効求人倍率の推移(大河原・白石:原数値, 県:季節調整値)

(出典: 宮城労働局 職業安定部職業安定課資料)口



09 観光

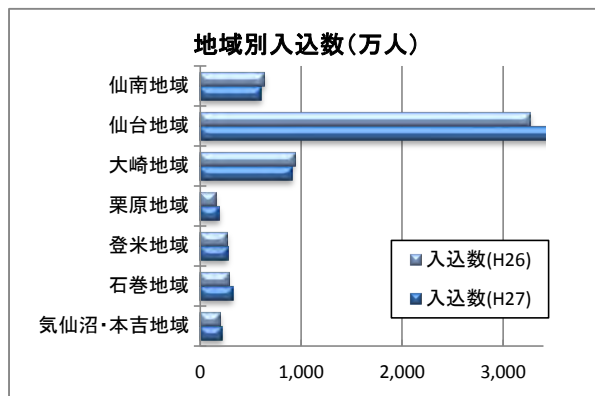
仙南地域は、蔵王国定公園のほか、蔵王高原及び阿武隈溪谷県立自然公園や自然環境保全地域の釜房湖、斗蔵山など自然豊かであり、鎌先、小原、青根、遠刈田などの温泉やスキー場など観光資源に富んでいる。また、白石城をはじめ、参勤交代の諸大名や旅人が利用した山中七ヶ宿街道、笹谷街道など数多くの歴史的景観がみられる。

平成27年の観光客入込数は約6,019千人で、前年に比べ約341千人(前年比△5.4%)の減少、宿泊観光客数は約630千人で、前年に比べ約35千人(前年比△5.3%)減少した。これは平成27年4月13日に発表された蔵王山噴火警報(火口周辺危険)による影響が大きい。

◆地域別観光客入込数 (単位:人,%)

地域名	入込数(H27)	構成比	入込数(H26)	構成比	前年比	増減率
仙南地域	6,019,426	9.9	6,360,837	11.1	-341,411	-5.4
仙台地域	35,572,173	58.6	32,696,184	56.9	2,875,989	8.8
大崎地域	9,132,009	15.1	9,327,858	16.2	-195,849	-2.1
栗原地域	1,891,606	3.1	1,543,320	2.7	348,286	22.6
登米地域	2,709,527	4.5	2,665,853	4.6	43,674	1.6
石巻地域	3,176,802	5.2	2,827,569	4.9	349,233	12.4
気仙沼・本吉地域	2,154,041	3.6	2,002,841	3.5	151,200	7.5
合計	60,655,584	100.0	57,424,462	100.0	3,231,122	5.6

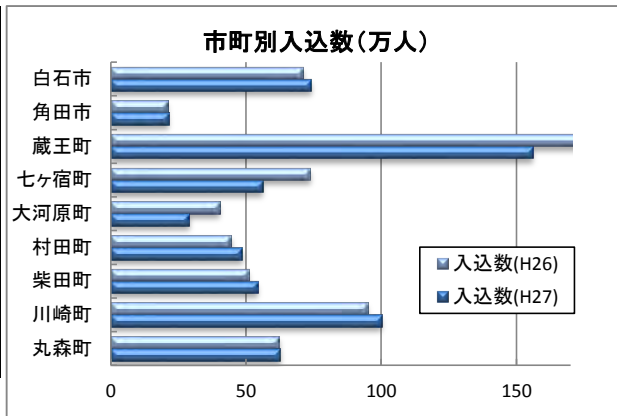
出典:平成27年観光統計概要



◆市町別観光客入込数 (単位:人,%)

市町名	入込数(H27)	構成比	入込数(H26)	構成比	前年比	増減率
白石市	739,555	12.3	711,377	11.2	28,178	4.0
角田市	214,347	3.6	209,653	3.3	4,694	2.2
蔵王町	1,560,866	25.9	1,777,223	27.9	-216,357	-12.2
七ヶ宿町	560,986	9.3	736,494	11.6	-175,508	-23.8
大河原町	289,411	4.8	402,138	6.3	-112,727	-28.0
村田町	485,485	8.1	444,465	7.0	41,020	9.2
柴田町	541,744	9.0	508,566	8.0	33,178	6.5
川崎町	1,001,442	16.6	949,367	14.9	52,075	5.5
丸森町	625,590	10.4	621,554	9.8	4,036	0.6
仙南合計	6,019,426	100.0	6,360,837	100.0	-341,411	-5.4

出典:平成27年観光統計概要



◆観光地点別入込数の推移 (単位:人)

地区名	H22	H23	H24	H25	H26	H27
蔵王	3,647,744	2,925,627	3,771,684	3,888,579	4,174,461	3,862,849
阿武隈溪谷	554,702	502,498	531,300	571,281	621,554	625,590
その他の地域	1,469,829	952,744	1,481,545	1,544,799	1,564,822	1,530,987
仙南地域合計	5,672,275	4,380,869	5,784,529	6,004,659	6,360,837	6,019,426
宮城県	61,285,934	43,157,768	52,082,052	55,690,689	57,424,462	60,655,584

出典:平成27年観光統計概要

◆形態別入込数 (単位:人,%)

		H22	県対比	H23	県対比	H24	県対比	H25	県対比	H26	県対比	H27	県対比
		仙南地区	入込客数	5,672,275	9.3	4,380,869	10.2	5,784,529	11.1	6,004,659	10.8	6,360,837	11.1
	宿泊客数	606,582	7.5	672,691	8.0	765,392	8.6	675,928	7.6	665,735	7.7	630,237	6.8
宮城県	入込客数	61,285,934		43,157,768		52,082,052		55,690,689		57,424,462		60,655,584	
	宿泊客数	8,047,141		8,416,704		8,884,225		8,861,731		8,615,870		9,288,595	

出典:平成27年観光統計概要

10 農業

仙南地域では、平坦部から高原地帯を含む立地条件に応じて、水稻を基幹とした水田農業、畜産、園芸作物の生産に加え、農畜産物の加工や直売活動など多様な農業が展開されている。しかし、仙南地域の平成27年の経営耕地規模別農家数は平成22年に比較し全体で29% (2,448人)減少しており、担い手の減少や高齢化が進む一方で、耕作放棄地が増加し、野生動物による農産物の被害が拡大するなど厳しい状況が続いている。

そのため、各市町・農業団体等と連携し、仙南地域の農業を支える認定農業者や集落営農組織等を育成し、「人・農地プラン」による地域営農計画作成とその実現を支援するとともに、農商工連携や6次産業化等による商品開発・販売活動を推進し、付加価値が高く競争力の強い農業生産を展開する。

また、農産物の放射性物質モニタリングや放射性物質吸収抑制対策の支援により食の安全・安心を実現し、安定した農産物の生産環境確保に向け、鳥獣害対策を推進する。

◆仙南地域の耕地面積(耕地及び作付面積統計※、農業センサス※※) 単位:ha, %

	水田※	畑※	水田率※	耕地率※	耕作放棄地面積※※
平成17年	12,100	8,330	59.2	13.2	2,509
平成22年	11,890	8,145	59.3	12.9	2,809
平成27年	11,693	7,351	61.4	12.3	3,342
県全体	106,100	23,300	81.9	17.8	11,692

◆仙南地域の経営耕地規模別農家数(農業センサス)

	平成12年	平成22年	平成27年
~1.0ha	6,142	4,505	3,485
1~2ha	3,419	2,442	1,188
2~5ha	1,285	1,020	837
5~10ha	215	255	225
10ha~	72	148	187

◆仙南地域の農業担い手(1, 2は農業センサス2015による, 3は宮城県調べ(平成28年3月末現在))

	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	仙南計	県内計
1. 販売農家数(戸)	1,149	1,511	734	94	253	669	484	569	1,064	6,527	37,533
2. 農業就業人口(人)	1,285	2,077	1,128	148	344	859	738	735	1,283	8,597	54,315
3. 担い手への農地利用集積率	17.1%	42.1%	28.8%	41.7%	44.4%	18.8%	34.1%	27.8%	20.7%	30.6%	51.6%

※ 販売農家:経営耕地面積30a以上 又は農産物販売金額が50万円以上の農家

◆市町村別の主要作物作付面積(平成27年)宮城県調べ

単位:ha

	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	地域計
主食用米	1,030	2,270	631	110	281	543	583	697	951	7,096
麦	-	141	-	-	-	5	5	-	-	151
大豆	32	250	28	2	71	73	20	35	26	537

◆仙南地域の園芸振興品目(特用林産を除く)

	野菜	花き	果樹
産地改革品目※	いちご, きゅうり, トマト, ねぎ, そらまめ, えだまめ	輪菊, スプレーぎく, 鉢物類, 花壇用苗物類	りんご, 日本なし, ブルーベリー
地域戦略品目※※	スイートコーン, さやいんげん, つるむらさき, ブロッコリー, にんじん, さといも, チンゲンサイ	小ぎく, トルコギキョウ	もも, うめ, かき, いちじく

※ 県全体の基幹品目 ※※ 各圏域の重点推進品目

◆市町村別のアグリビジネスへの取組状況(平成28年3月現在)宮城県調べ

単位:件

	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	地域計
農産物直売所(固定店舗)数	15	13	35	2	4	3	6	4	9	91
市・無人直売・インショップ数	3	10	2	-	1	-	7	3	-	26
6次産業化計画認定事業者数※	2	-	5	1	-	-	-	-	-	8
先進的アグリビジネス経営体数※※	5	2	5	1	1	-	-	-	2	16
農地所有適格法人数※※※	11	13	10	7	2	1	2	5	7	58

※東北農政局HP(平成28年9月30日現在) ※※売上高1億円以上の農業経営体(平成28年3月現在)

※※※平成28年3月現在

◆野生鳥獣による農作物被害(平成27年度)(宮城県調べ)

単位:a

	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	地域計
鳥獣害による被害面積(a)	2,812	790	1,058	114	430	412	180	1,319	661	7,776

11 畜産

仙南地域の畜産は、丘陵部や河川敷等を活用した豊富な自給飼料生産基盤に恵まれて主産地を形成してきたが、飼養者の高齢化や担い手不足等により畜産農家戸数及び頭数は年々減少傾向にあるが、1戸当たりの飼養頭羽数は増加している。黒毛和牛子牛の市場価格は、構造的な素牛不足により高騰しており、牛枝肉卸売価格も高値で推移している。しかし、配合飼料価格は高値傾向で推移しており畜産経営を圧迫している。福島第一原発事故に伴い、除染を実施した牧草地等から生産される牧草の放射性物質の検査を継続する。また、関係機関と連携しながら、優良雌牛の整備や畜産クラスター関連事業を活用し生産性・収益力向上を図る。さらに、家畜衛生対策として、家畜伝染病予防法に基づく伝染病の検査や家畜飼養衛生管理指導を継続的に実施する。

◆主要家畜別飼養戸数及び飼養頭数の状況

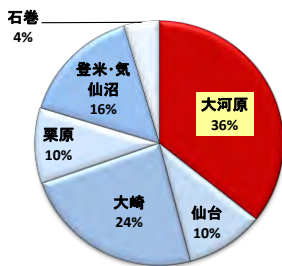
単位：戸、頭、百羽

圏域／市町村	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		肉用鶏	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数	戸数	羽数
大河原	139	6,745	251	15,484	22	50,476	32	7,652	16	3,940
白石市	31	1,260	51	3,886	6	20,302	1	300	1	180
角田市	12	607	52	2,344	5	1,636	4	408	1	160
蔵王町	28	1,613	37	2,432	1	3,928	16	3,547	1	180
七ヶ宿町	7	515	1	59	-	-	-	-	2	517
大河原町	1	55	3	994	3	10,472	-	-	-	-
村田町	2	53	19	1,029	-	-	-	-	-	-
柴田町	2	69	5	237	-	-	1	2	-	-
川崎町	13	628	23	3,181	3	1,495	6	1,448	1	48
丸森町	43	1,945	60	1,322	4	12,643	4	1,947	10	2,855
県合計	539	20,211	3,181	78,658	155	193,826	84	47,694	59	20,517

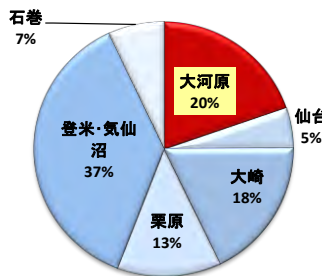
・家畜伝染病予防法に基づく定期報告集計(平成28年2月1日現在)

・採卵鶏及び肉用系は小規模農場を除いたもの(100羽未満)

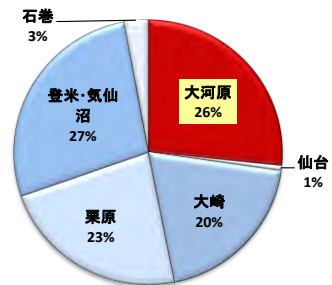
乳用牛 頭数



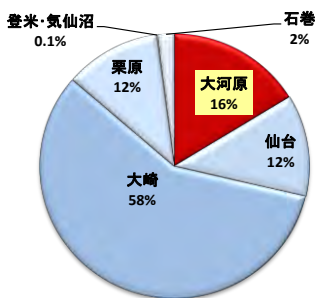
肉用牛 頭数



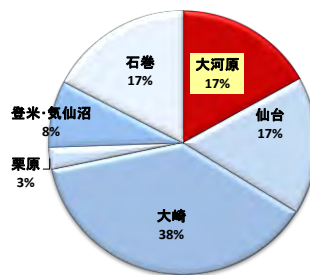
豚 頭数



採卵鶏 羽数



肉用鶏 羽数



◆主な畜産関係施設

市町名	施設名
白石市	蔵王山麓ミルクステーション
	公益社団法人みやぎ農業振興公社白石牧場
	山田乳業(株)
角田市	角田市農業の館(堆肥センター) (株)加工連
蔵王町	一般財団法人蔵王酪農センター
丸森町	丸森町町営放牧場
	黒佐野堆肥センター
	筆甫堆肥センター
	峠堆肥センター
	館矢間第一・第二堆肥センター

12 林業

管内の森林面積は106,213haあり、管内総土地面積の68%（県全体の25%）を占めている。そのうち、民有林面積は70,487haで、うち県有林2,761ha（4%）、市町有林7,929ha（11%）、私有林59,800ha（85%）となっている。

森林病虫害等被害では、依然として松くい虫被害が管内全市町で発生しているが、27年度被害は対前年比69%に減少した。また、ナラ枯れは管内2市4町で発生しており、26年度に被害のあった蔵王町では今回被害が見られなかった。

有害鳥獣許可捕獲頭数は、ニホンザル、ツキノワグマは年ごとにバラツキが見られる傾向にあるが、イノシシについては、全体として高い数値のままで推移してきている。

1 森林面積

区分	総面積等			国有林 (ha)	民有林 (ha)	民有林の内訳(ha)			保安林 (ha)
	(ha)	うち森林面積と割合				県有林	市町村	私有林	
白石市	28,648	19,587	68%	4,327	15,260	1,022	1,433	12,805	6,178
角田市	14,753	5,643	38%	82	5,561	1	75	5,485	390
蔵王町	15,283	9,428	62%	4,223	5,205	41	233	4,931	4,128
七ヶ宿町	26,309	24,090	92%	15,322	8,768	502	1,380	6,887	20,263
大河原町	2,499	701	28%	—	701	—	15	687	—
村田町	7,838	4,167	53%	406	3,761	87	621	3,053	1,018
柴田町	5,403	1,893	35%	37	1,856	—	162	1,694	152
川崎町	27,077	21,522	79%	8,898	12,624	678	1,802	10,145	11,114
丸森町	27,330	19,182	70%	2,431	16,751	430	2,208	14,113	4,206
仙南地域	155,140	106,213	68%	35,726	70,487	2,761	7,929	59,800	47,449

注1：「平成27年度版 みやぎの森林・林業のすがた（数値は平成27年3月31日現在）」

注2：民有林は、森林法第2条で規定する国有林以外の森林

注3：民有林の内訳「市町村」は財産区有を含む

注4：保安林は、平成27年度末の現況（国有林+民有林）（農林水産部 森林整備課調べ）

2 林道の整備状況

区分	① 延長 (m)	② 密度 (m/ha)
白石市	58,814	3.85
角田市	18,519	3.33
蔵王町	36,762	7.05
七ヶ宿町	38,765	4.47
大河原町	—	—
村田町	6,074	1.62
柴田町	15,043	8.10
川崎町	51,381	4.10
丸森町	114,824	6.85
仙南地域	340,182	4.83
県計	1,458,225	5.10

3 森林病虫害等被害及び有害鳥獣許可捕獲等の状況

区分	①森林病虫害等被害量(本)				②有害鳥獣許可捕獲頭数					
	松くい虫被害		ナラ枯れ被害		イノシシ		ニホンザル		ツキノワグマ	
	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度
白石市	126	156	42	18	834	709	13	10	3	2
角田市	127	120	70	78	821	658	—	—	—	—
蔵王町	73	64	4	—	155	185	—	3	16	17
七ヶ宿町	16	22	40	2	34	37	85	72	2	1
大河原町	85	72	—	—	60	50	—	—	—	—
村田町	214	54	—	—	100	141	—	—	1	—
柴田町	50	13	94	33	52	41	—	—	—	1
川崎町	17	21	75	650	233	165	42	19	9	3
丸森町	999	653	4,768	4,052	980	1,119	15	27	—	1
仙南地域	1,707	1,175	5,093	4,833	3,269	3,105	155	131	31	25

注1：林道の整備状況は、「平成27年度版 みやぎの森林・林業のすがた（数値は平成27年3月31日現在）」

注2：森林病虫害等被害量は、農林水産部 森林整備課調べ

注3：有害鳥獣許可捕獲等頭数は、大河原地方振興事務所林業振興部 森林管理班調べ

注4：有害鳥獣許可捕獲等頭数は、有害、個体数調整を合わせたもの

4 主な特用林産物（平成27年次）

（単位：kg）

区分	生しいたけ	なめこ	えのきたけ	ひらたけ	まいたけ	わらび	たらめ	ごごみ	ふきのとう	たけのこ	わさび	木炭(白炭)	木炭(黒炭)
白石市	1,101	—	—	—	—	313	60	34	31	209	—	—	—
角田市	2,050	—	—	—	—	1	188	128	130	990	—	—	—
蔵王町	—	—	—	—	—	102	833	122	47	3,418	9	—	—
七ヶ宿町	—	143	—	35	171	1,465	289	183	4	6	29	9,106	11,500
大河原町	678	36	—	324	—	92	56	—	116	1,631	—	—	—
村田町	20,692	33	—	63	133	739	275	7	239	15,861	—	—	—
柴田町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	—	—	—
川崎町	390	—	462,895	3,500	—	9	147	—	1	—	—	—	—
丸森町	4,000	10,800	—	—	—	776	310	—	15	3,400	—	—	—
仙南地域	28,911	11,012	462,895	3,922	304	3,497	2,158	474	583	25,558	38	9,106	11,500

注1：「平成27年特用林産物生産統計調査」（農林水産部 林業振興課調べ）

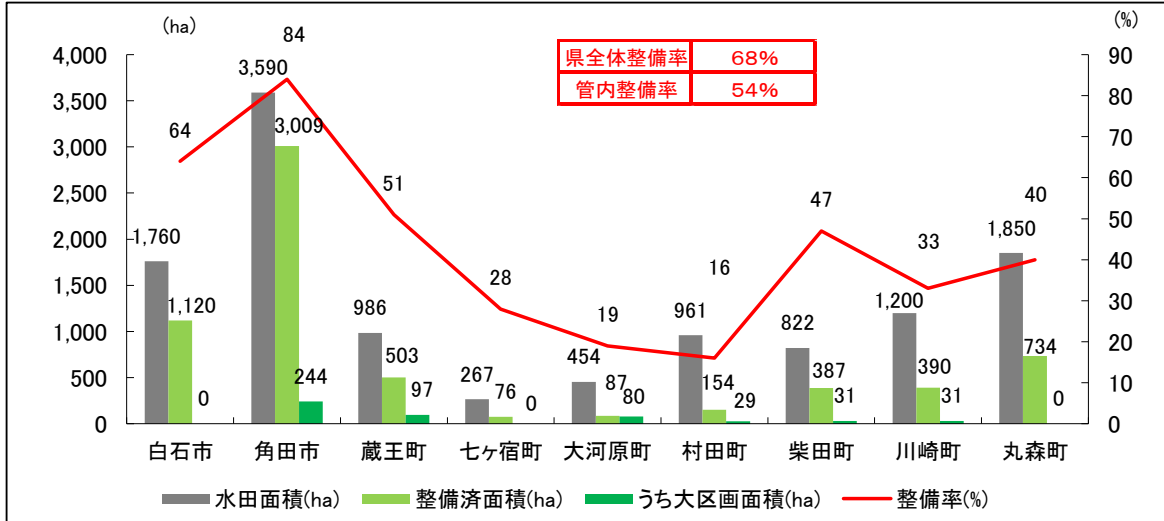
13 農村整備

仙南地域における水田の整備状況は、県全体の整備率68%に比べ54%と、気仙沼を除く県内6管内で最も低い状況であるが、角田市などを中心に約6,500haの整備が行われている。最近では、柴田町や角田市で「ほ場整備推進協議会」等が設立されるなど、生産基盤整備の気運が高まりつつある。

また、農業水利施設は、約7割が標準耐用年数を超過している状況であり、計画的な機能診断や保全対策が求められており、基幹的農業水利施設では、13施設で保全対策を実施中である。

日本型直接支払制度の多面的機能支払は、管内農振農用地面積の35%で取り組んでおり、県全体の60%と比べ低い状況となっているが、今後増加傾向にある。一方、中山間地域等直接支払の活動面積は、県全体の活動面積の約4割と高い状況となっている。

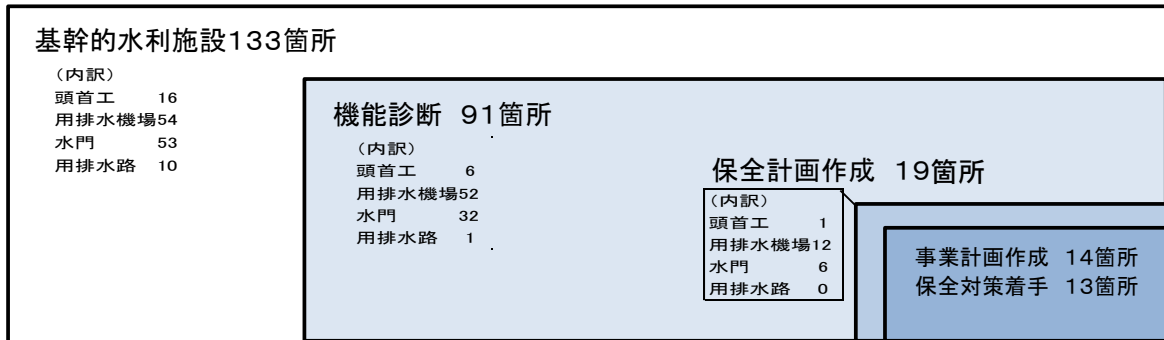
◆管内市町別水田整備状況(平成27年度実績)



※整備済面積とは1区画が20a以上、うち大区画とは50a以上(畦畔除去後を含む)に整備された面積としている。

※東日本大震災津波被災地域の整備済面積は参考扱い。水田面積はH22の数値(震災前)である。

◆管内基幹的農業水利施設の状況



※基幹的水利施設とは、受益面積A=100ha以上の農業用の用排水機場や水門等(ダムを除く)のこと。

◆日本型直接支払制度における各交付金の実施状況(平成27年度実績見込)

市町	①農振農用地面積(ha)	多面的機能支払			中山間地域直接支払	
		組織数	②面積(ha)	カバー率(②/①)	協定数	面積(ha)
白石市	1,999	18	386	19%	8	130
角田市	3,613	35	1,715	47%	4	58
蔵王町	1,653	9	270	16%	-	-
七ヶ宿町	484	6	220	45%	6	209
大河原町	572	1	32	6%	-	-
村田町	1,869	5	575	31%	-	-
柴田町	799	13	630	79%	-	-
川崎町	1,548	7	370	24%	2	33
丸森町	3,014	39	1,267	42%	26	556
管内計	15,551	133	5,465	35%	46	986
県全体	119,764	983	72,101	60%	232	2,267

※①農振農用地面積はH23の数値であり、②面積は、交付対象面積を記載している。

※①面積は、見込値であり実績により変更となる場合がある。

14 県税

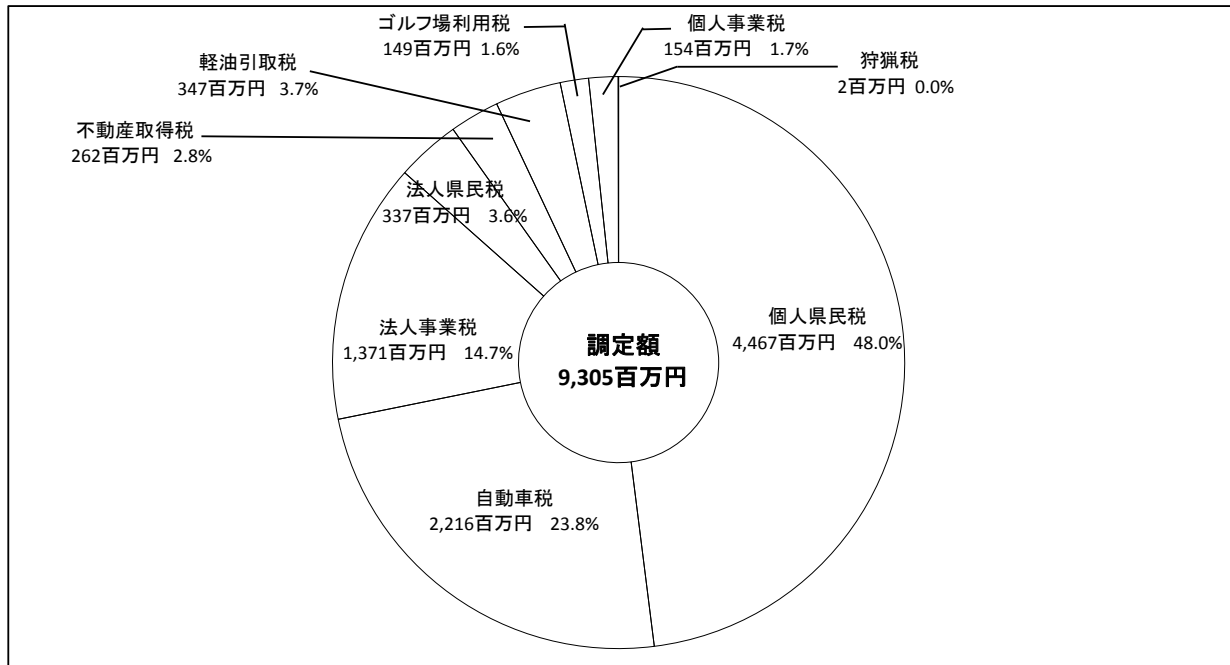
平成27年度の仙南圏域(大河原県税事務所管内)での県税(現年度分)調定額は、93億0,490万円で、県全体の3.0%にあたる。また、収入額は、92億0,402万円で、収入率98.9%と県全体と比べやや低くなっている。

主要県税の収入額(現年度分、滞納繰越分合計)は、個人県民税(44億8,385万円)が最も多く、自動車税(22億1,664万円)、法人事業税(13億7,351万円)、軽油引取税(3億4,673万円)と続いている。

◆県税の状況(税目別調定額)

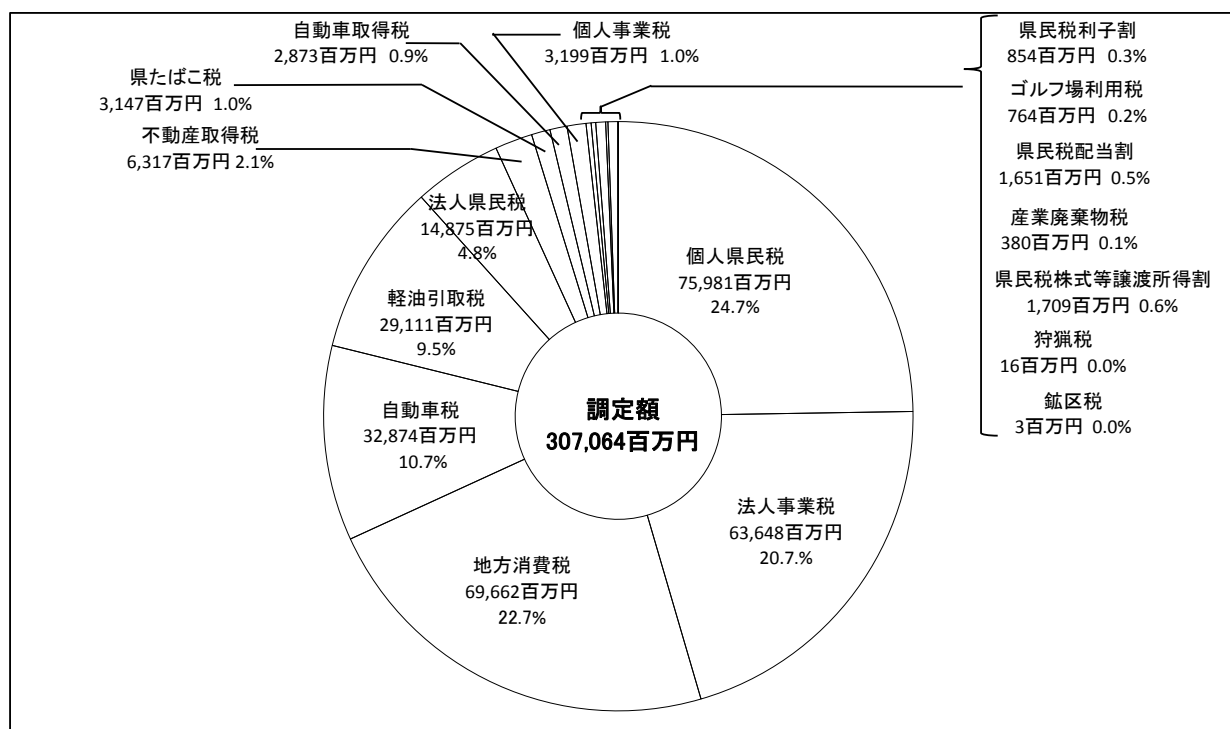
○大河原県税事務所管内

(平成27年度現年度分)

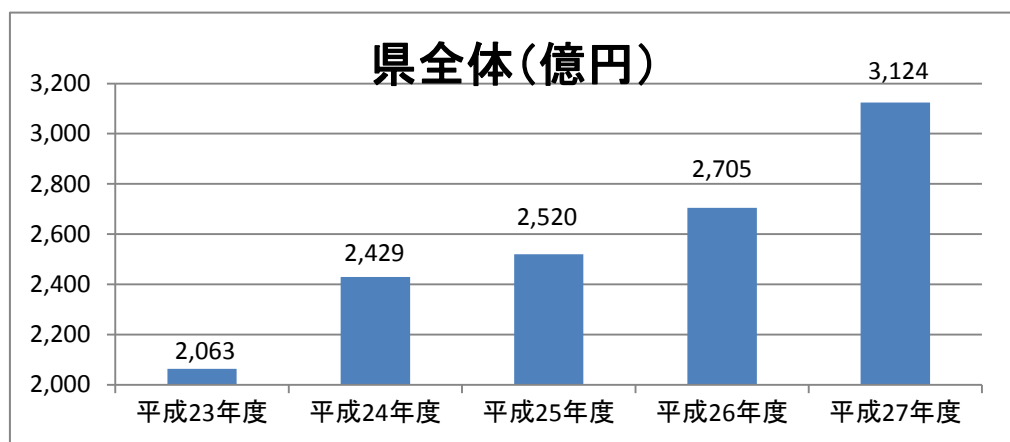
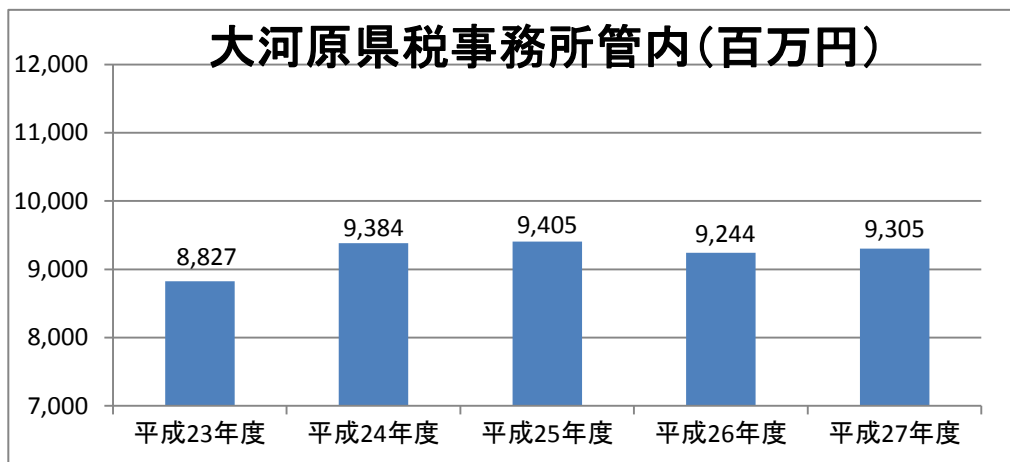


○県全体

(平成27年度現年度分)

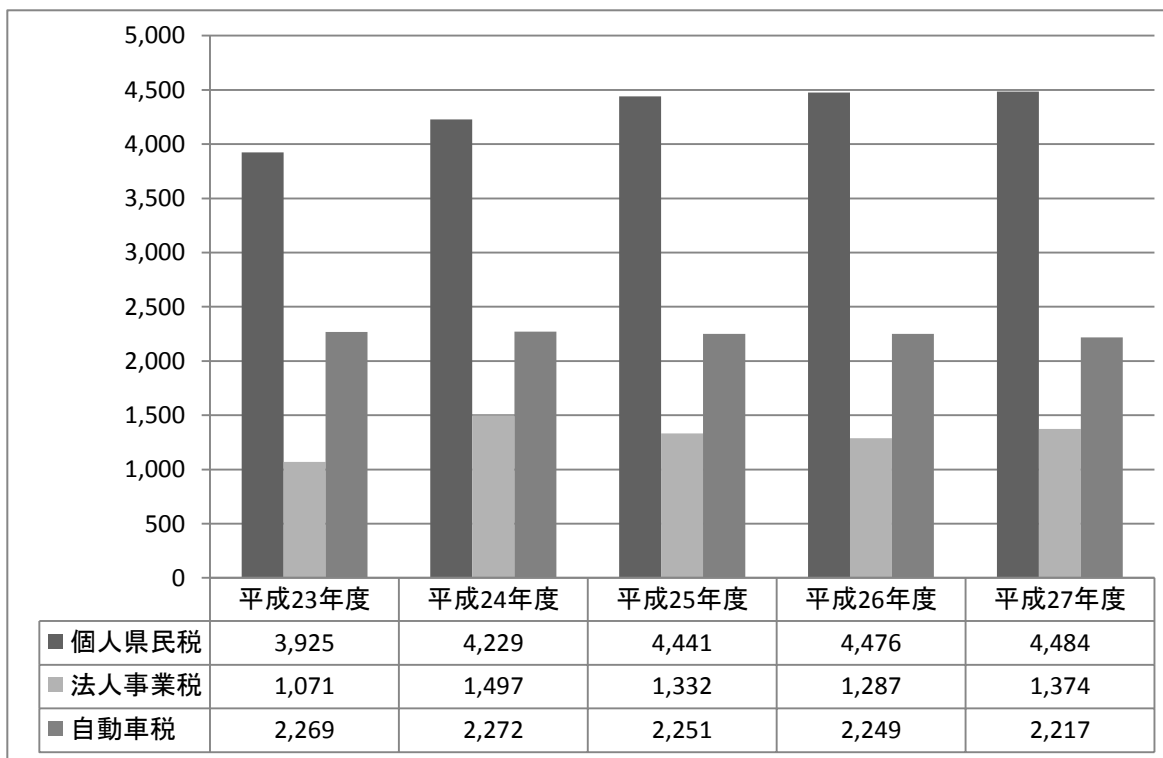


◆県税収入の推移(現年度分, 滞納繰越分合計)



◆主要県税収入の推移(大河原県税事務所管内)

単位: 百万円



15 土木	◆ 道路管理延長は、県全体の21% 575km(国道5路線、地方主要道14路線、一般県道27路線)、県内7土木・地域事務所が最長 いる。
	◆ 河川管理延長は、3水系の全体延長の66%に当たる394km(一級河川48河川385km、二級河川2河川9km)を いる。
	◆ 主要な施策、事業
	○産業振興や広域防災のための道路ネットワークの整備…国道113号白石市蔵本地区、(主)岩沼蔵王線村田町(仮称)姥ヶ懐トンネル、国道286号川崎町支倉バイパス等の推進
	○隳・減災体制の強化…松川火山砂防、平家川河川改修、橋梁耐震補強、砂防地すべり対策等の推進
	○日常生活を支える土木建築行政の推進…歩道整備、除融雪、多様な主体との連携、建築確認申請の迅速な処理等の推進

◆道路管理状況 (平成29年3月31日現在)

道路種別	路線数	実延長 (km)	改良済み延長 (km)	改良率 (%)
国道(指定区間外)	5路線	184.4	168.9	91.6
主要地方道	14路線	232.7	206.6	88.8
一般県道	27路線	158.0	112.1	71.0
合計	46路線	575.1	487.7	84.8
宮城県全体	222路線	2,701.4	2,460.9	91.1
県全体に対する比率	20.7%	21.3%	19.8%	

◆河川管理状況 (平成29年3月31日現在) ◆スマイルサポーター登録団体数 (平成29年2月現在)

水系別	河川数	延長(km)	市町	スマイルロード	スマイルリバー	計
一級河川 阿武隈川水系	39	308.6	白石市	9	7	16
一級河川 名取川水系	9	76.4	角田市	18	3	21
二級河川 宇多川水系	2	9.3	蔵王町	5	0	5
			七ヶ宿町	3	0	3
			大河原町	3	0	3
合計	50	394.3	村田町	6	0	6
宮城県全体(3水系のみ)	71	596.8	柴田町	5	6	11
県全体に対する比率	70.40%	66.10%	川崎町	4	0	4
			丸森町	10	0	10
			計	63	16	79

◆主な道路、河川、砂防地すべり事業一覧 (平成29年3月31日現在)

種別	名称	延長	幅員	事業内容
道路	名称	国道113号 福岡蔵本道路改良事業 (白石市)		主要地方道 岩沼蔵王線 大師・姥ヶ懐道路改良事業 (村田町・柴田町・岩沼市)
	全体計画	L=995m	W=6.0(7.5)m	L=3,700m W=6.5(8.0)m
道路	名称	主要地方道 白石丸森線 大張館矢間道路改良事業 (角田市・丸森町)		主要地方道 丸森柴田線 坂津田道路改良事業 (角田市)
	全体計画	L=4,950m	W=5.5(7.0)m	L=1,760m W=6.5(10.5)m
歩道整備	名称	国道349号 小坂歩道整備事業 (角田市)		一般県道 角田柴田線 神次郎歩道整備事業 (角田市)
	全体計画	L=1,000m	W=6.5(11.0)m	L=500m W=6.0(10.05)m
橋梁補修	名称	松川橋(蔵王町)		大河原大橋(大河原町)
	延長	L=178.0m		L=176.0m
	路線名	主要地方道 白石上山線		一般県道 大河原高倉線
河川	河川名	一級河川阿武隈川水系松川		白石川
	名称	一級河川阿武隈川水系 平家川 平家川河川改修事業 (白石市・蔵王町)		一級河川阿武隈川水系 小田川 小田川河川改修事業 (角田市)
砂防地すべり	名称	一級河川阿武隈川水系 松川 松川火山砂防事業 (蔵王町)		一級河川阿武隈川水系 斎川 南台沢砂防事業 (白石市)
	全体計画	L=4,900m		砂防えん堤 1基

16 広域水道

七ヶ宿ダムを水源として、仙南及び仙塩地域の17市町に対して、一日最大 553,300m³の水道用水を供給するものである。
 昭和52年度から建設工事に着手し、平成元年度までに、一日最大 150,000m³の取水に対応する第一期工事が完了し、平成2年度からは一部(15市町)に、平成4年度からは、17市町すべてに給水を行っている。また、新たな給水に対応するため、平成2年度から着手した第二期工事が平成5年度に完了し、平成6年度からは、ダム取水系の計画給水量である一日最大 279,000m³の給水が可能となっている。

平成 28 年 10 月 10 日 現在

1. 仙南・仙塩広域水道用水供給事業の概要

1) 計画取水量と計画給水量 (単位) m³/日

取水地点	計画取水量	計画給水量	給水計画
ダム取水 (七ヶ宿ダム)	300,000	279,000	H2.4 第1期給水開始 139,500m ³ /日 H6.4 第2期給水開始 279,000m ³ /日 H22.2 水利権変更 272,937m ³ /日
河道取水 (白石川)	295,000	274,300	第3期, 第4期 水需要に対応
計	595,000	553,300	

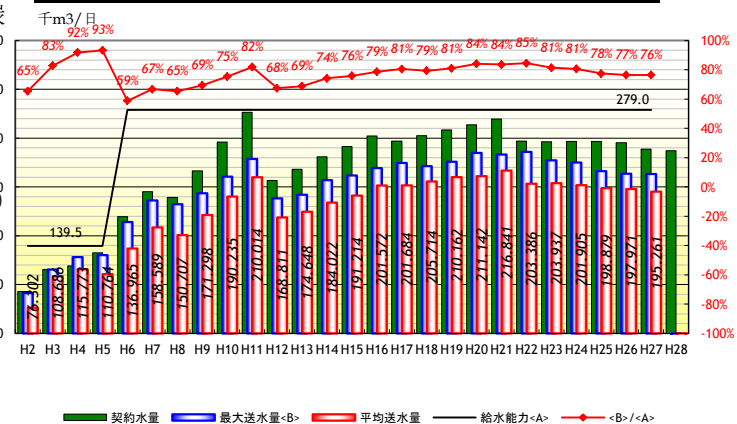
2) 受水市町及び給水量 (1日最大給水量) (単位) m³/日

仙南地区			仙塩地区		
市町名	最終給水量	H28契約水量	市町名	最終給水量	H28契約水量
白石市	24,700	7,800	仙台市	331,900	104,900
角田市	21,200	9,300	塩竈市	11,500	3,500
岩沼市	21,800	11,000	名取市	20,700	12,000
蔵王町	4,500	3,800	多賀城市	21,000	14,300
大河原町	8,200	6,600	松島町	5,700	3,300
村田町	7,400	5,400	七ヶ浜町	10,900	5,900
柴田町	20,300	15,000	利府町	12,200	10,700
亘理町	14,300	11,400	富谷市	11,500	9,200
山元町	5,500	3,100			
仙南計	127,900	73,400	仙塩計	425,400	163,800
			合計	553,300	237,200

3) 特徴 (単位) m³/日

- 取水施設
 - 浄水場独自で運用可能な選択取水方式を採用
- 浄水施設 (急速ろ過方式)
 - 異臭味対策のため粉末活性炭による接触槽を設置
- 送水施設
 - 管径が大口径 (φ 2400 mm ~ φ 150 mm)
 - 送水管路延長が200 km
 - 高水圧 (局部的に17 kg/cm²)

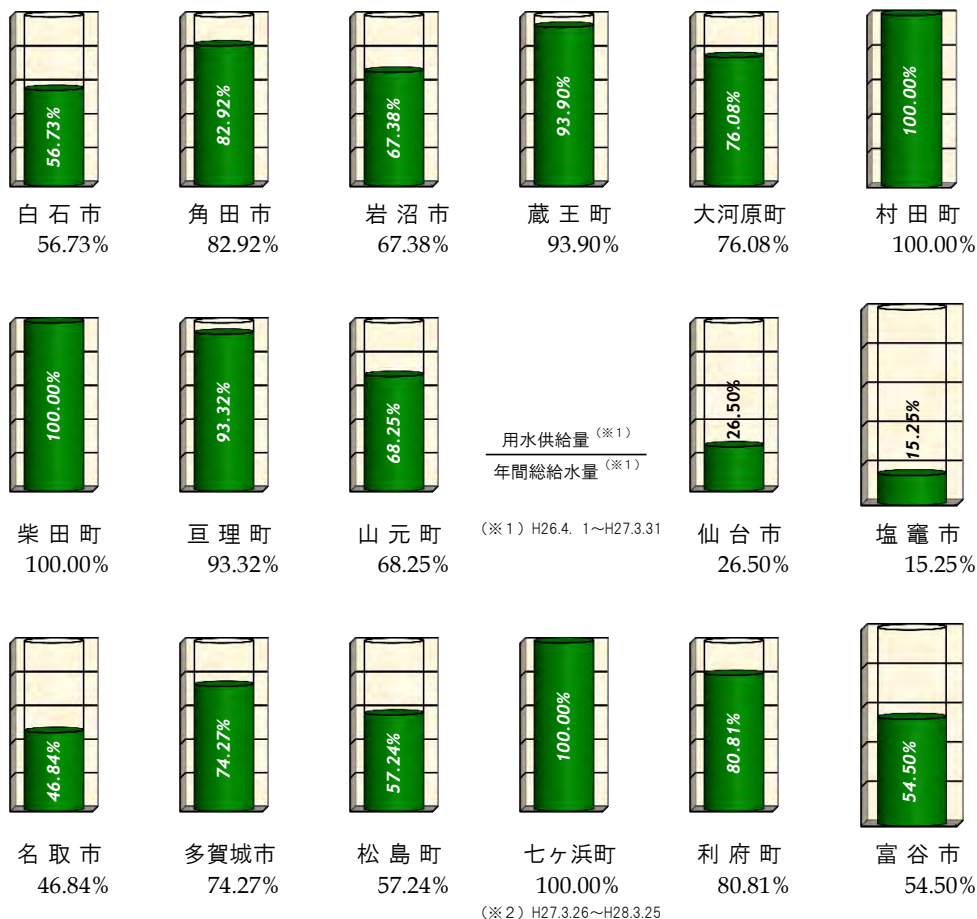
平成	給水能力	契約水量	責任水量
26	279,000	245,200	196,160
27	279,000	238,900	191,120
28	279,000	237,200	189,760



4) 事業費 (S52~H27)

- 全体計画
 - 約3,110億円 (ダム負担金約604億円)
- 平成27年度までの執行額
 - 約2,884億円

2. 市町別給水量における仙南・仙塩の割合

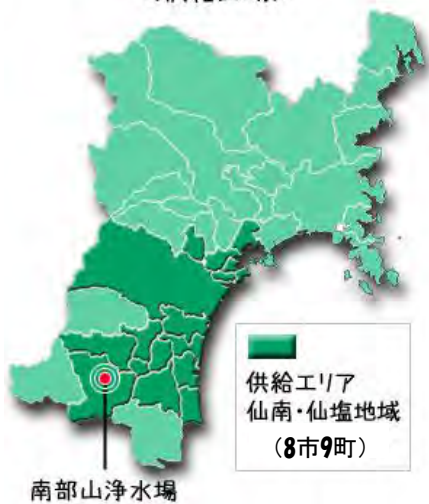


用水供給量 (※1)
年間総給水量 (※1)

(※1) H26.4.1~H27.3.31

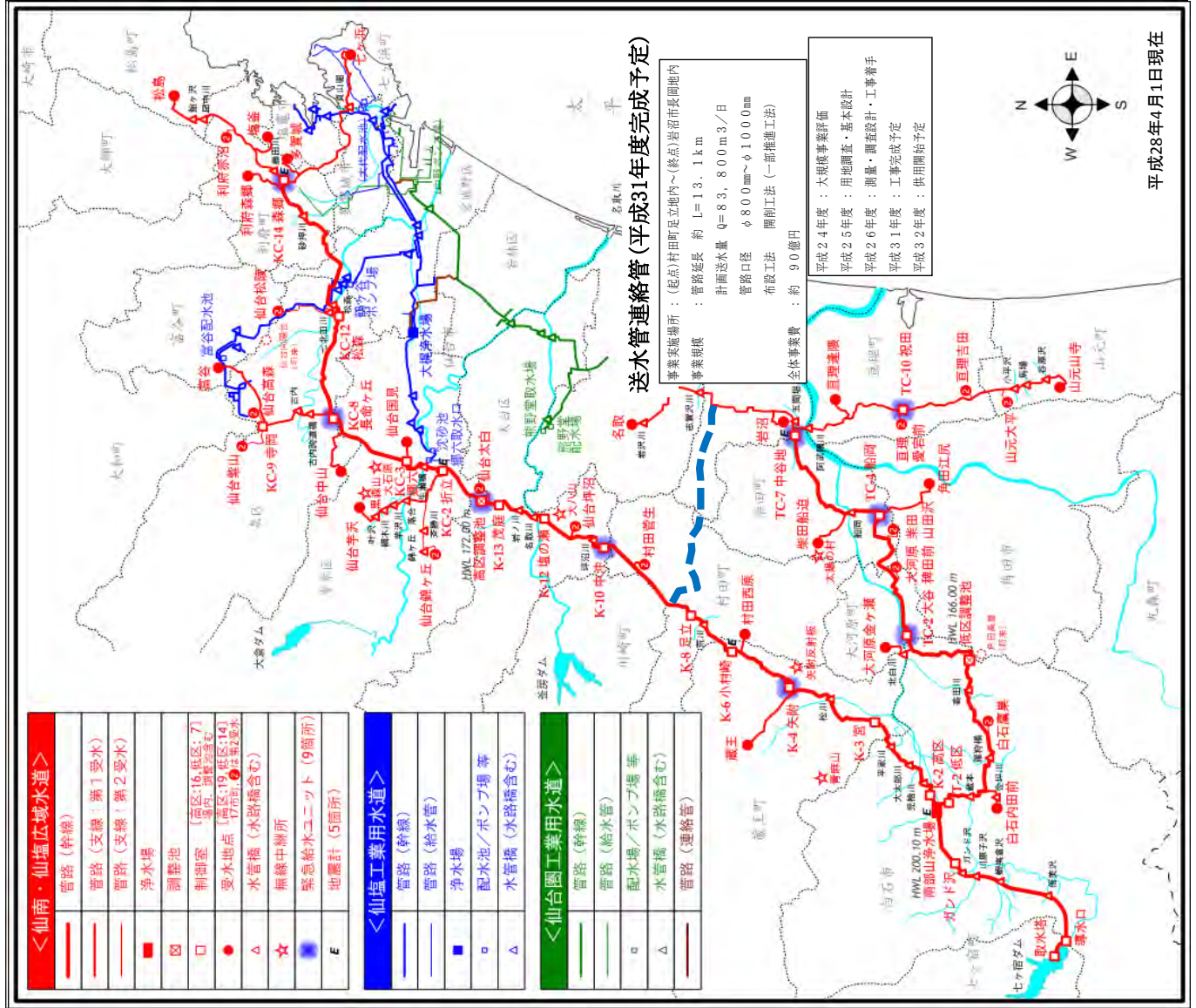
(※2) H27.3.26~H28.3.25

仙南・仙塩広域水道用水供給事業
<供給区域>



	H27年度有収水量(※2)	割合
白石市	2,338,718 m3/年	3.27% (10)
角田市	3,066,022 m3/年	4.29% (8)
岩沼市	3,227,511 m3/年	4.51% (6)
蔵王町	1,247,228 m3/年	1.74% (14)
大河原町	2,042,460 m3/年	2.85% (11)
村田町	1,663,725 m3/年	2.33% (13)
柴田町	4,896,576 m3/年	6.84% (2)
亶理町	3,474,506 m3/年	4.86% (5)
山元町	997,054 m3/年	1.39% (17)
仙台市	31,147,483 m3/年	43.53% (1)
塩竈市	1,055,616 m3/年	1.48% (16)
名取市	3,526,497 m3/年	4.93% (4)
多賀城市	4,200,693 m3/年	5.87% (3)
松島町	1,110,961 m3/年	1.55% (15)
七ヶ浜町	1,689,795 m3/年	2.36% (12)
利府町	3,109,038 m3/年	4.35% (7)
富谷市	2,755,868 m3/年	3.85% (9)
合計	71,549,751 m3/年	100.00%

仙南・仙塩広域水道事務所管内図



施設の概要

仙南・仙塩広域水道	
貯水施設	七ヶ宿ダム 目的 洪水調整, 灌漑, 都市用水, 河川維持 型式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 4.1km ² 総貯水量 109,000,000m ³
取水施設	取水塔 独立式シリンドラータ式 (H=48.5m) シリンドラータ直径=1.2~2.2m 取水管 φ=1,200mm L=68.0m W=2.0m L=815m φ=1,200mm L=815m
導水施設	導水トンネル R=0.9m 輻形 (φ1,800mm) L=11,135m 3橋 11,703m 水筒橋 1橋
浄水施設	総延長 着水井 1井 (2井) 薬品混和池 2池 (4池) フロック形成池 4池 (8池) 傾斜板式横流沈澱池 4池 (8池) 重力式急速ろ過池 20池 (40池) 塩素混和池 2池 浄水池 2池
送水施設	高区系 (3市6町) 低区系 (4市4町) 調整池 RC造 2池 44,650m ³ RC造 2池 18,300m ³ 送水管 φ=2,400~150mm φ=1,200~150mm L=123,049m L=77,060m 水管橋 24橋 13橋



17 教育

児童生徒数は少子化の影響等で引き続き減少傾向にあり、前年度と比較して小学校で125人、中学校で97人減っている。平成20年度と比較すると今年度の小・中学校の児童生徒数は12%の減少となっている。また、小・中学校数も平成20年度との比較で小学校で10校、中学校で4校統廃合により減少している。

各小・中学校では、児童生徒の「生きる力」の育成に向け、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に努めている。「確かな学力」の育成では、基礎・基本の確実な習得と思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動の充実を図るとともに学力向上のための「5つの提言」と「算数・数学ステップ・アップ5」をふまえた授業改善に積極的に取り組んでいる。

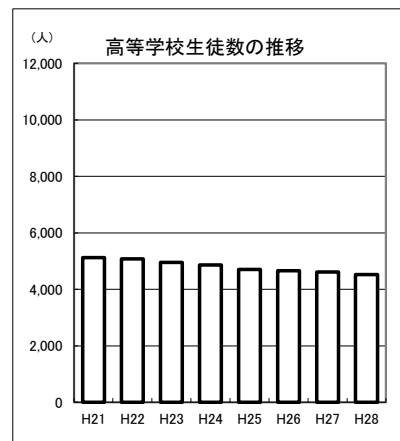
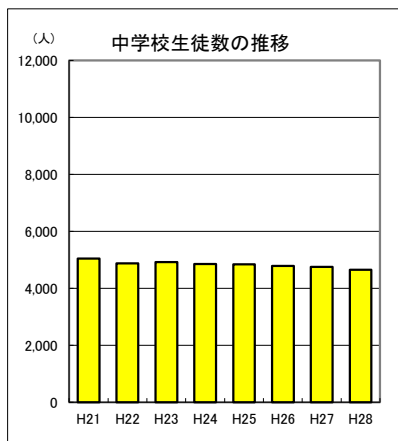
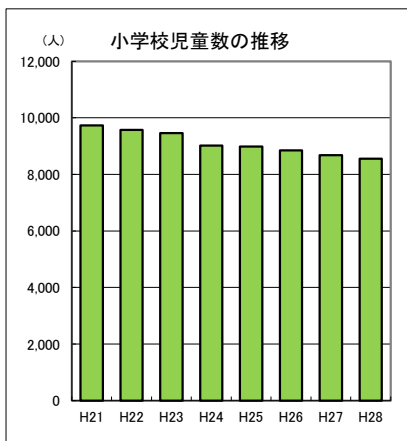
「学力向上研究指定校事業」(県教委)では、大河原中学校が3年目の本公開を開催した。「小・中連携英語教育推進事業」(県教委)では、船迫小・中学校が公開研究会を開催した。「みやぎ防災教育推進協力校事業」(県教委)では、東根小学校が2年間、福岡中学校が1年間の取組の成果を発表した。また、志教育支援事業においては、七ヶ宿町が、「七ヶ宿で育ち・学び、未来を担う児童生徒を目指して」のテーマのもと、学校・家庭・地域のつながりの中で、町中の小・中・高が連携を図りながら、七ヶ宿らしい志教育を実践し発表会を開催した。

生涯学習関係では、各市町及び社会教育関係団体が情報交換・連携を密にして生涯学習の振興に向けた取組や事業の充実を図っている。管内規模の事業として社会教育推進大会・協働教育研修会、宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭、仙南青年文化祭、ジュニア・リーダー中級研修会等を開催している。また、親の「学び」と「育ち」を支える環境づくりが重要であることから、子育て支援者の育成にも取り組み、家庭教育の充実と振興を図っている。

県・管内の重点施策の「地域社会と学校教育の協働の推進」においては、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育むことを目指した協働教育(地域学校協働活動)を管内全市町で推進している。

◆仙南地域の児童・生徒数の推移(「学校基本調査」による)

学校区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
小学校	9,734	9,570	9,463	9,023	8,983	8,848	8,678	8,553
中学校	5,047	4,872	4,917	4,853	4,846	4,785	4,751	4,654
高等学校	5,129	5,080	4,953	4,864	4,703	4,660	4,616	4,520



◆市町村別の学校と児童・生徒数(H28.5.1現在「学校基本調査」による)

市町等	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	園数	園児数	校数	児童数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
白石市	3	396	15	1,635	7	931	2	1,602	1	7
角田市	5	253	8	1,534	3	797	1	486	1	99
蔵王町	3	101	5	567	3	329	1	182	-	-
七ヶ宿町	-	-	1	40	1	33	2	41	-	-
大河原町	1	145	3	1,332	2	725	2	1,008	-	-
村田町	2	158	2	507	2	270	1	336	-	-
柴田町	5	569	6	1,990	3	1,019	1	477	1	59
川崎町	1	19	4	375	2	206	1	94	-	-
丸森町	-	-	9	573	1	344	1	294	-	-
仙南合計	20	1,641	53	8,553	24	4,654	12	4,520	3	165
宮城県	254	30,646	399	118,204	213	62,855	95	61,345	24	2,560

「宮城県蔵王自然の家」

1 利用について

1団体（子ども会、スポ少、家族等）3人以上であれば一般の方でも利用することができます。 宿泊利用も日帰り利用もできます。

野外活動や創作活動を蔵王の雄大な大自然の中で体験できます。

2 活動内容について

登山、ハイキング、野外炊飯、ニジマスつかみ、沢遊び、昆虫探し、スキー、そり遊び、グラウンドゴルフ、他

3 平成29年度の主催事業（予定）

No	事業名	内容	対象	期日
1	青少年長期自然体験活動推進事業 チャレンジin蔵王	・登山 ・創作活動 ・野外炊飯 ・沢登り 等	小学校5年生から中学校3年生まで 42人	8月5日(土)～8月11日(金) 6泊7日
2	満喫！蔵王の春	・新緑ハイキング ・植物観察 ・野外ゲーム 等	小学生、中学生とその保護者 30組(100人)	5月20日(土)～21日(日) 1泊2日
3	満喫！蔵王の夏	・夏山登山 ・沢遊び ・ニジマスつかみ ・キャンプファイヤー 等	小学生、中学生とその保護者 30組(100人)	8月26日(土)～27日(日) 1泊2日
4	満喫！蔵王の秋	・紅葉狩りハイキング ・登山 ・創作活動 等	小学生、中学生とその保護者 30組(100人)	10月14日(土)～15日(日) 1泊2日
5	満喫！蔵王の冬	・雪遊び ・歩くスキー ・そり遊び ・雪像作り 等	小学生、中学生とその保護者 30組(100人)	2月3日(土)～4日(日) 1泊2日
6	環境と登山 (みやぎ環境税活用事業)	・登山 ・登山の知識等	40歳以上の方 25人	6月10日(土)～11日(日) 7月15日(土)～16日(日) 10月7日(土)～8日(日)
7	学ぶ土台づくり推進計画「自然の家体験事業」 蔵王でみんなとお泊まり会 親子で遊ぼうin蔵王	・ハイキング、レク、創作活動他 ・育児の情報交換会	未就学児とその保護者 15家族 50人程度	7月1日(土)～2日(日)
		・ハイキング ・沢遊び ・ニジマスつかみ ・雪遊び 等	未就学児及びその保護者 30組(100人)	9月16日(土) 1月27日(土)
8	初心者のための山ガール教室(みやぎ環境税活用事業)	・登山 ・登山の知識等	18歳以上の大学生・社会人(女性) (40人)	6月3日(土) 9月30日(土) 2月17日(土)
9	野外教育施設ボランティア養成講座	・講話 ・野外活動研修 ・アウトドアクッキング ・MAP体験 等	大学生、社会人 20人程度	5月13日(土)～14日(日) 7月8日(土)～9日(日) 1月20日(土)～21日(日)
10	野外活動指導者研修会(10年研対象事業)	・野外炊飯 ・登山 ・講義 ・アウトドアクッキング 等	学校・教育関係者 20人程度	8月17日(木)～18日(金)
11	受入事業	野外活動関係各種団体と連携し、利用団体活動の充実を図る。	利用団体	通年
12	自然の家フェスティバル	・ニジマス釣り ・野外ゲーム ・創作活動 ・大学生と遊ぼう ・出張！松島&志津川自然の家コーナー	県内外利用者	10月22日(日)
13	防災教育関連出前講座	・MAP ・パーテーション作り ・新聞紙で紙スリッパ作り 等	小学校 市町村教育委員会 一般利用者	通年

4 その他

詳細は宮城県蔵王自然の家ホームページでも確認できます。 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zao-syounen/>
問い合わせは TEL0224-34-2101まで。

18 文化	<p>仙南地域の文化施設等は、平成7年に槻木文化センター(現:槻木生涯学習センター)、平成8年に仙南芸術文化センター(えずこホール)、平成9年に白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)、平成16年に蔵王町文化会館(ございんホール)が開館し、それぞれに地域の文化活動の中核を形成している。平成27年度には、角田市市民センターの改修が完了し、ホール棟(かくだ田園ホール)が供用開始された。その他、丸森町の齋理屋敷などの博物館類似施設の充実も図られている。</p> <p>また、角田市や大河原町では総合体育館が、平成13年には本県で開催された国体に関連し、村田町にクレイ射撃場、柴田町に水球プール(現:仙南総合プール)が配置されるなど、各市町とも総合運動施設の整備を行っている。</p>
--------------	---

◆公共施設(平成29年1月1日現在)

市町名	図書館	体育施設	公民館	集会施設	市民会館	公園	市町営住宅
白石市	1	8	9	17	2	74	534
角田市	1	4	9	61	1	36	533
蔵王町	1	10	4	29	1	13	114
七ヶ宿町	-	2	9	43	1	-	55
大河原町	-	2	2	79	-	49	267
村田町	-	3	7	33	-	5	173
柴田町	1	3	6	41	-	64	551
川崎町	-	1	17	41	-	6	139
丸森町	1	5	-	54	-	5	300
仙南地域合計	5	38	63	398	5	252	2,666

※公共施設は、「市町村公共施設状況調査」の基準による。

◆文化財(平成29年1月1日現在)

(1)国指定一有形文化財

名称	所在地	所有者(管理団体)	指定日
高蔵寺阿弥陀堂	角田市高倉字寺前49	高蔵寺	S25.8.29
旧佐藤家住宅	角田市高倉字寺前50	角田市	S46.8.13
我妻家住宅	蔵王町大字曲竹字薬師前4	個人	S46.12.28
木造阿弥陀如来坐像	角田市高倉字寺前49	高蔵寺	S25.8.29
鰐口	大河原町金ヶ瀬字台部2-1	大高山神社	S43.4.25

(2)国指定一記念物

名称	所在地	所有者(管理団体)	指定日
梁瀬浦遺跡	角田市岡字梁瀬浦	角田市	S52.2.17
ヨコグラノキ北限地帯	白石市小原字上台	白石市	S17.10.14
小原のヒダリマキガヤ	白石市小原字湯沢神前	白石市	S17.10.14
小原のコツブガヤ	白石市小原字御仮屋	白石市	S18.2.19
雨乞のイチョウ	柴田町大字入間田字雨乞	個人	S43.11.8
滝前不動のフジ	川崎町大字支倉字滝前	個人	S51.6.16
球状閃緑岩	白石市白川犬卒都婆字宮の林ほか	白石市	T12.3.7
小原の材木岩	白石市小原字上台ほか	白石市	S9.5.1
ニホンカモシカ	蔵王連峰(特別天然記念物:昭和30年指定)		

(3)国指定一民俗文化財

名称	所在地	所有者(管理団体)	指定日
福應寺毘沙門堂奉納養蚕信仰絵馬	角田市鳩原字寺44	福應寺	H24.3.8

(4)国登録一有形文化財

名 称	所 在 地	所有者(管理団体)	登録日
旧丸森郵便局	丸森町字町西	個人	H21.4.28
蔵の郷土館齋理屋敷店蔵ほか11件	丸森町字町西	丸森町	H23.1.26
不忘閣本館他6件	川崎町青根温泉	個人	H26.12.19
當信寺本堂他1件	白石市本町	個人	H28.8.1
延命寺山門	白石市不澄ヶ池	個人	H28.2.25
一條旅館木造本館他2件	白石市福岡蔵本	個人	H28.8.1

(5)国選定一伝統的建造物群保存地区

名 称	所 在 地	所有者(管理団体)	選定日
村田町村田伝統的建造物群保存地区	村田町大字村田字町の一部	個人・村田町	H26.9.18

(6)県指定一有形文化財

名 称	所 在 地	所有者(管理団体)	指定日
旧小関家住宅附表門・路地塀	白石市西益岡町6-52	白石市	H5.12.24
絹本着色両界曼荼羅図	柴田町西船迫1-12-12	大光院	S44.4.18
木造薬師如来立像	柴田町大字入間田字寺35	円龍寺	S31.3.9
木造十二神将立像	柴田町大字入間田字寺35	円龍寺	S31.3.9
木造阿弥陀如来坐像	角田市島田字大和橋59	称念寺	S39.8.7
丈六阿弥陀如来坐像	蔵王町大字平沢字諏訪館28-1	保昌寺	S49.4.30
鉄造阿弥陀如来坐像	柴田町西船迫1-12-12	大光院	S44.4.18
木造薬師如来坐像	角田市稲置字小針	高蔵寺	S50.4.30
銅造千手観音像懸仏	角田市小田字斗蔵95	斗蔵寺	S39.8.7
刈田嶺神社本殿	蔵王町宮字馬場1	刈田嶺神社	H10.7.31
日本刀鍛錬技術(無形)	白石市大畑1-61	宮城眞一	H16.3.30
旧上戸沢検断屋敷木村家住宅	白石市小原字上台27-2	白石市	H16.3.30

(7)県指定一民俗文化財

名 称	所 在 地	所有者(管理団体)	指定日
青葉の田植踊	丸森町大内字青葉	青葉の田植踊保存会	S43.12.13
金津の七夕	角田市尾山字北田101	金津七夕保存会	H9.6.27

(8)県指定一記念物

名 称	所 在 地	所有者(管理団体)	指定日
台町古墳群	丸森町字平ほか	丸森町・台町保勝会	S43.12.13
富沢磨崖仏群	柴田町大字富沢字岩崎山	常光寺	S46.3.2
鷹の巣古墳群	白石市鷹巣字本木山ほか	白石市	S46.11.9
愛宕山古墳・附薬師堂古墳	村田町大字関場字愛宕山ほか	個人	S49.4.30
不動堂のフジ	柴田町大字本船迫字寺後	大光院	S30.3.25
丸森のイチヨウ	丸森町字四反田	丸森町	S42.4.11
平沢の弥陀の杉附戒石銘	蔵王町大字平沢字丈六78-1	蔵王町	S46.11.9
逆イチヨウ	川崎町大字今宿字銀杏木6	野上下組愛林組合	S51.3.29
嘉右衛門山の逆さケヤキ	白石市大平中目字梨ノ木平山3番1	中目牧野農業協同組合	H17.5.10
高蔵寺の大杉	角田市高倉字寺前37	高蔵寺	H17.5.10
高蔵寺カヤの群生林	角田市高倉字寺前37～39・45・47・49	高蔵寺	H17.5.10

19 治安情勢	仙南地域を管轄している大河原、白石及び角田の各警察署の少年非行、犯罪の発生状況及び交通事故の発生状況は、前年と比較して、少年非行は3署で減少した。全刑法犯の認知状況は、前年と比較して、大河原では増加、白石及び角田では減少した。また、交通事故の発生状況は、死亡事故が大河原は減少、白石では増減なし、角田で増加した。
----------------	--

1 少年非行の概況（平成29年1月1日現在）

(1) 検挙・補導件数（単位：人）

		平成28年	平成27年	増減
大河原	総数	110	173	△ 63
	刑法犯少年	19	36	△ 17
	犯罪少年	18	35	△ 17
	触法少年	1	1	0
	特別法犯少年	0	2	△ 2
	ぐ犯・不良行為少年	91	135	△ 44
白石	総数	89	98	△ 9
	刑法犯少年	11	7	4
	犯罪少年	7	7	0
	触法少年	4	0	4
	特別法犯少年	2	4	△ 2
	ぐ犯・不良行為少年	76	87	△ 11
角田	総数	144	95	49
	刑法犯少年	9	10	△ 1
	犯罪少年	4	10	△ 6
	触法少年	5	0	5
	特別法犯少年	1	4	△ 3
	ぐ犯・不良行為少年	134	81	53

(2) 特徴

ア 大河原

- ・ 非行少年等の総数は110人で、前年同期と比べ63人(36.4%)減少している。
- ・ 刑法犯少年は19人で、前年同期と比べ17人(47.2%)減少している。
- ・ ぐ犯・不良行為少年は91人で、前年同期と比べ44人(32.6%)減少している。

イ 白石

- ・ 総数は89人で、前年に比べ9人(9.2%)減少している。
- ・ 刑法犯少年は7人で、昨年と同数である。
- ・ ぐ犯・不良行為少年は76人で、前年に比べ11人(12.6%)減少している。
- ・ 不良行為少年76人のうち、行為別では、深夜徘徊が全体の45.3%を占め、学識別では、高校生が全体の38.7%を占めている。

ウ 角田

- ・ 総数は144人で、前年に比べ49人(51.6%)増加している。
- ・ 全刑法犯に占める少年の割合は14.8%である。
- ・ 刑法犯少年(犯罪少年)は4人で、前年に比べ6人(60.0%)減少している。
- ・ 不良行為少年の補導は134人で、前年に比べ53人(65.4%)減少している。

2 犯罪の発生状況（平成29年1月1日現在）（単位：件）

(1) 全刑法犯の認知状況

	大河原			白石			角田		
	認知件数	検挙件数	検挙率	認知件数	検挙件数	検挙率	認知件数	検挙件数	検挙率
H28	507	140	27.6%	347	130	37.5%	265	105	39.6%
H27	598	182	30.4%	310	67	21.6%	232	67	28.9%
増減	△ 91	△ 42	△2.8p	37	63	△15.9p	33	38	△10.7p

(2) 重要犯罪, 重要窃盗犯の認知状況

		殺人	強盗	強姦	強制わいせつ	放火	侵入窃盗	乗物盗	ひったくり	すり
大河原	H28	2	4	1	5	0	50	99	0	0
	H27	1	2	0	2	0	78	179	1	0
	増減	1	2	1	3	0	△ 28	△ 80	△ 1	0
白石	H28	0	2	0	1	4	37	21	0	1
	H27	0	1	0	2	0	31	64	0	0
	増減	0	1	0	△ 1	4	6	△ 43	0	1
角田	H28	0	0	3	1	2	44	14	0	0
	H27	0	0	0	2	0	32	19	0	0
	増減	0	0	3	△ 1	2	12	△ 5	0	0

(3) 窃盗犯の認知状況

		空巢狙い	忍込み	事務所荒	出店荒	車上狙い	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	部品狙い	自販機荒	万引き
大河原	H28	9	9	3	9	34	6	2	91	18	3	70
	H27	33	8	10	9	18	9	28	142	15	5	43
	増減	△ 24	1	△ 7	0	16	△ 3	△ 26	△ 51	3	△ 2	27
白石	H28	8	7	3	2	16	2	1	18	16	9	42
	H27	9	1	7	1	11	8	27	29	9	9	25
	増減	△ 1	6	△ 4	1	5	△ 6	△ 26	△ 11	7	0	17
角田	H28	9	9	1	1	11	1	2	11	8	2	23
	H27	16	7	0	0	27	5	1	13	3	10	15
	増減	△ 7	2	1	1	△ 16	△ 4	1	△ 2	5	△ 8	8

3 交通事故の発生状況 (平成29年1月1日現在)

(1) 交通事故の発生状況 ※概数

(単位: 発生・物損は件, 死者・負傷者は人)

	平成 2 8 年				平成 2 7 年				増 減			
	発 生	死 者	負傷者	物 損	発 生	死 者	負傷者	物 損	発 生	死 者	負傷者	物 損
大河原	366	4	487	1,812	295	3	386	1,865	71	1	101	△ 53
白石	107	3	132	1,095	114	4	147	1,068	△ 7	△ 1	△ 15	27
角田	92	3	113	871	113	4	133	862	△ 21	△ 1	△ 20	9

(2) 交通事故の特徴

ア 大河原

- ・ 死亡事故は4件4人で前年と比較して1件1人増加した。4件のうち3件が、高齢者が関係する事故であった。
- ・ 高齢者が関係する交通事故は全体の19.4%であり、前年と比較して14.5%増加した。
- ・ 交差点又は同付近での交通事故が全体の63.4%を占めており、漫然運転、安全不確認等「緊張感の欠如」による交通事故が多発している。

イ 白石

- ・ 死亡事故は2件3人で、前年と比較して2件1人減少した。
- ・ 高齢者の事故は18件(16.8%)で、高齢者ドライバー事故は30件(28.0%)を占める。
- ・ 発生場所は、交差点・同付近で61.6%、直線道路で35.5%を占める。
- ・ 発生原因は、前方不注視による追突事故が53件(49.5%)、次いで安全不確認等の出会い頭事故が44件(41.1%)である。

ウ 角田

- ・ 死亡事故は3件3人で、前年と比較して1人減少した。
- ・ 人身事故は前年と比較して21件(18.6%)減少し、負傷者も20人(15.0%)減少した。物損事故は9件(1.0%)増加した。
- ・ 若年運転者事故は前年と比較して5件減少し、10件となった。高齢運転者の事故は2件減少したものの、24件(26.1%)と依然として高水準である。
- ・ 事故類型別では、追突事故が38件(41.3%)と最も多く、次いで交差点での出会い頭事故が37件(40.2%)で、この2つの類型が全体の81.5%を占める。

21 県の行政機関

(H29.3 現在)

機 関 名	住 所	ウェブページアドレス	電話番号 (0224)
		Eメールアドレス	
大河原県税事務所	大河原合同庁舎 〒989-1243 大河原町字南 129-1 (代表) 0224-53-3111	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ok-zei/	53-3130
		oksin-z@pref.miyagi.jp	
仙南保健福祉事務所		http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sn-hohuku/	53-3115
仙南保健所		snhwfz@pref.miyagi.jp	
大河原地方振興事務所		http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/6.html	53-3133
		oksgsin@pref.miyagi.jp	
大河原農業改良普及センター		http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-n/ (大河原地方振興事務所農業振興部)	53-3253
		oknokai@pref.miyagi.jp	
大河原家畜保健衛生所		http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ok-kaho/	53-3538
		okkaho@pref.miyagi.jp	
大河原土木事務所	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ok-doboku/	53-3135	
	okdbk@pref.miyagi.jp		
大河原教育事務所	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ok-kyouiku/	53-3926	
	okkyoz@pref.miyagi.jp		
白石高等技術専門校	〒989-1102 白石市白川津田字新寺前 5-1	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/srkogsn/	35-1511
		srkogsn-g@pref.miyagi.jp	
仙南・仙塩広域水道事務所	〒989-0232 白石市福岡長袋字南部山 7-1	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ss-kousui/	25-8890
		sssuid@pref.miyagi.jp	
蔵王自然の家	〒989-0916 蔵王町遠刈田温泉字上の原 155-1	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zao-syounen/	34-2101
		zoseinn@pref.miyagi.jp	
大河原警察署	〒989-1267 大河原町字小島 21-8	http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/oogawara/index/index.html	53-2211
白石警察署	〒989-0217 白石市大平森合字清水田 4-1	http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/siroisi/index.html	25-2138
角田警察署	〒981-1505 角田市角田字扇町 5-7	http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/kakuda/index.html	63-2211



みやぎ蔵王三十六景

「みやぎ蔵王三十六景」のシンボルマークです。

このシンボルマークは宮城県の登録商標です。（登録番号第 5118004 号）

平成29年4月発行

仙南地域の概要

編集・発行

大河原地方行政連絡調整会議

事務局：大河原地方振興事務所

地方振興部 商工・振興第一班

電話0224-53-3199